NEC

IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240
ソフトウェアマニュアル

メッセージ・ログレファレンス

Ver. 2.12 対応

IP8800SS1240-S005-B0

■対象製品

このマニュアルは次に示すモデル，ソフトウェアでサポートする機能を対象に記載しています。

- IP8800/S2200：Ver.2.10　OS-LT4，オプションライセンス
- IP8800/S2100：Ver.2.12　OS-LT5　（オプションライセンス未サポート）
- IP8800/SS1250：Ver.2.8　OS-LT3，オプションライセンス
- IP8800/SS1240：Ver.2.8　OS-LT2，オプションライセンス

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ，必要な手続きをお取りください。
なお，不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Ethernet は，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
GSRP は，アラクサラネットワークス株式会社の登録商標です。
Internet Explorer は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IPX は，Novell,Inc. の商標です。
MagicPacket は，Advanced Micro Devices,Inc. の登録商標です。
Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
RSA，SecurID については RSA Security Inc. の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
Wake on LAN は，IBM Corp. の登録商標です。
Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み，保管してください。

製品を使用する前に，安全上の説明をよく読み，十分理解してください。
このマニュアルは，いつでも参照できるよう，手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

２０２０年　1月　（第１２版）　IP8800SS1240-S005-B0

■著作権

変更履歴

【Ver. 2.12（第 12 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.1.2　運用ログおよび装置障害ログのコード情報	• イベント発生部位＝ EQUIPMENT を追加しました。
2.5.2　イベント発生部位＝ SFP	• INFO メッセージ（項番 10）を追加しました。 • WARN メッセージを追加しました。
2.5.3　イベント発生部位＝ FABRIC	• FATAL メッセージ（項番 8）を変更しました。
2.6.12　イベント発生部位＝　EQUIPMENT【S2100】	• 本項を追加しました。

なお，単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 2.7（第 11 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ SDCARD	• MC 運用モード機能のログを追加しました。

【Ver. 2.6（第 10 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
シリーズの追加	• IP8800/S2100 の記述を追加しました。
イベント発生部位＝ DHCPSN	• バインディングデータベース生成に関するログの内容を変更しました。
イベント発生部位＝　POE 【S2200】【S2100】【SS1240】	• IP8800/S2100 の記述を追加しました。
イベント発生部位＝　FAN 【S2200】【S2100】【SS1240】	• IP8800/S2100 の記述を追加しました。

【Ver. 2.5（第 9 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN	• INFO メッセージ（項番 13 ～ 16）の対応を変更しました。
イベント発生部位＝ SNOOP	• INFO メッセージ（項番 8）変更しました。
イベント発生部位＝ KERNEL	• INFO メッセージ（項番 1 ～ 3）の対応を変更しました。
イベント発生部位＝ HTTPD	• INFO 情報を追加しました。
イベント発生部位＝ FABRIC	• FATAL メッセージ（項番 8）を 1 件追加しました。
イベント発生部位＝ ROM	• ERROR メッセージの Ref.Code を変更しました。
イベント発生部位＝ RTC	• ERROR メッセージの Ref.Code を変更しました。

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ THERMO	• ERROR メッセージの Ref.Code を変更しました。
イベント発生部位＝ SDCARD	• ERROR メッセージの Ref.Code を変更しました。

【Ver. 2.4（第 7 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
シリーズの追加	• IP8800/S2200 の記述を追加しました。
イベント発生部位＝ POE【S2200】【SS1240】	• INFO メッセージ（項番 3）を 1 件追加しました。 • WARN メッセージ（項番 4）を 1 件追加しました。 • FATAL メッセージ（項番 1）を 1 件追加しました。これにより項番が変更されています。
イベント発生部位＝ FAN【S2200】【SS1240】	• ERROR メッセージ（項番 1）を 1 件追加しました。これにより項番が変更されています。

【Ver. 2.3（第 6 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）	• INFO メッセージ（項番 3 ～ 4）を 2 件追加しました。

【Ver. 2.3（第 5 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ THERMO	• INFO メッセージ（項番 2 ～ 5）を 4 件追加しました。
イベント発生部位＝ SVP	• INFO メッセージ（項番 3）を 1 件追加しました。

【Ver. 2.2（第 4 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
シリーズ追加	• IP8800/SS1250 の記述を追加しました。
イベント発生部位＝ SFP	• INFO メッセージ（項番 10）を 1 件追加しました。これにより項番が変更されています。
イベント発生部位＝ PCI	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ RAM	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ CPU	• 本項を追加しました。

【Ver. 2.2（第 3 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝　VLAN（Ring Protocol）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN（CFM）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ IP	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ RADIUS	• INFO メッセージ（項番 1，3，5，7，9，11，13，15）を 8 件変更しました。 • 各認証専用 RADIUS サーバまたは，ＲＡＤＩＵＳ サーバグループに関する INFO メッセージ（項番 2，4，6，8，10，12，14，16 ～ 18）を 10 件追加しました。これにより項番が変更されています。
イベント発生部位＝ CERTIF	• WARN 情報を追加しました。
イベント発生部位＝ FABRIC	• INFO 情報を追加しました。 • CRITC メッセージ（項番 3 ～ 5）を 3 件追加しました。 • FATAL メッセージ（項番 5 ～ 7）を 3 件追加しました。
イベント発生部位＝ ROM	• ERROR メッセージ（項番 3 ～ 4）を 2 件追加しました。これにより項番が変更されています。
イベント発生部位＝ THERMO	• Accumulation operation time was initialized メッセージのイベントレベルを ERROR から WARN へ変更しました。

【Ver. 2.1（第 2 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ SESSION	• ローカルログイン認証時の INFO メッセージ内容（項番 16）を変更しました。 • ローカルログイン認証時の INFO メッセージ（項番 17）を 1 件追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• 自動 VLAN 割当に関する INFO メッセージ（項番 7 ～ 8）を 2 件追加しました。これにより以降の項番が変更されています。
イベント発生部位＝ KERNEL	• INFO 情報を追加しました。
イベント発生部位＝ RADIUS	• 各認証専用 RADIUS サーバに関する INFO メッセージ（項番 3 ～ 8）を 6 件追加しました。
イベント発生部位＝ ECO	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ PORT	• イベントメッセージ（Ref.Code=1e145000）を追加しました。
イベント発生部位＝ ULR	• MAC アドレスアップデート機能に関する INFO メッセージ（項番 17 ～ 18）を 2 件追加しました。
イベント発生部位＝ FAN	• 温度監視による FAN の動作に関する INFO メッセージ（項番 2 ～ 3）を 2 件追加しました。
イベント発生部位＝ SVP	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ PWRSUP	• 本項を追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは次に示すモデル，ソフトウェアでサポートする機能を対象に記載しています。

- IP8800/S2200：Ver.2.10　OS-LT4，オプションライセンス
- IP8800/S2100：Ver.2.12　OS-LT5　（オプションライセンス未サポート）
- IP8800/SS1250：Ver.2.8　OS-LT3，オプションライセンス
- IP8800/SS1240：Ver.2.8　OS-LT2，オプションライセンス

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み，書かれている指示や注意を十分に理解してください。また，このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

なお，このマニュアルでは特に断らないかぎり IP8800/S2200，IP8800/S2100，IP8800/SS1250，IP8800/SS1240 に共通の機能について記載しますが，機種固有の機能については以下のマークで示します。

【S2200】：

IP8800/S2200 についての記述です。

【S2100】：

IP8800/S2100 についての記述です。

【SS1250】：

IP8800/SS1250 についての記述です。

【SS1240】：

IP8800/SS1240 についての記述です。

また，このマニュアルでは特に断らないかぎり OS-LT5，OS-LT4，OS-LT3，OS-LT2 の機能について記載しますが，オプションライセンスの機能については以下のマークで示します。

【OP-WOL】：

オプションライセンス OP-WOL でサポートする機能です。

【OP-OTP】：

オプションライセンス OP-OTP でサポートする機能です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は，ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し，運用するシステム管理者の方を対象としています。

また，次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

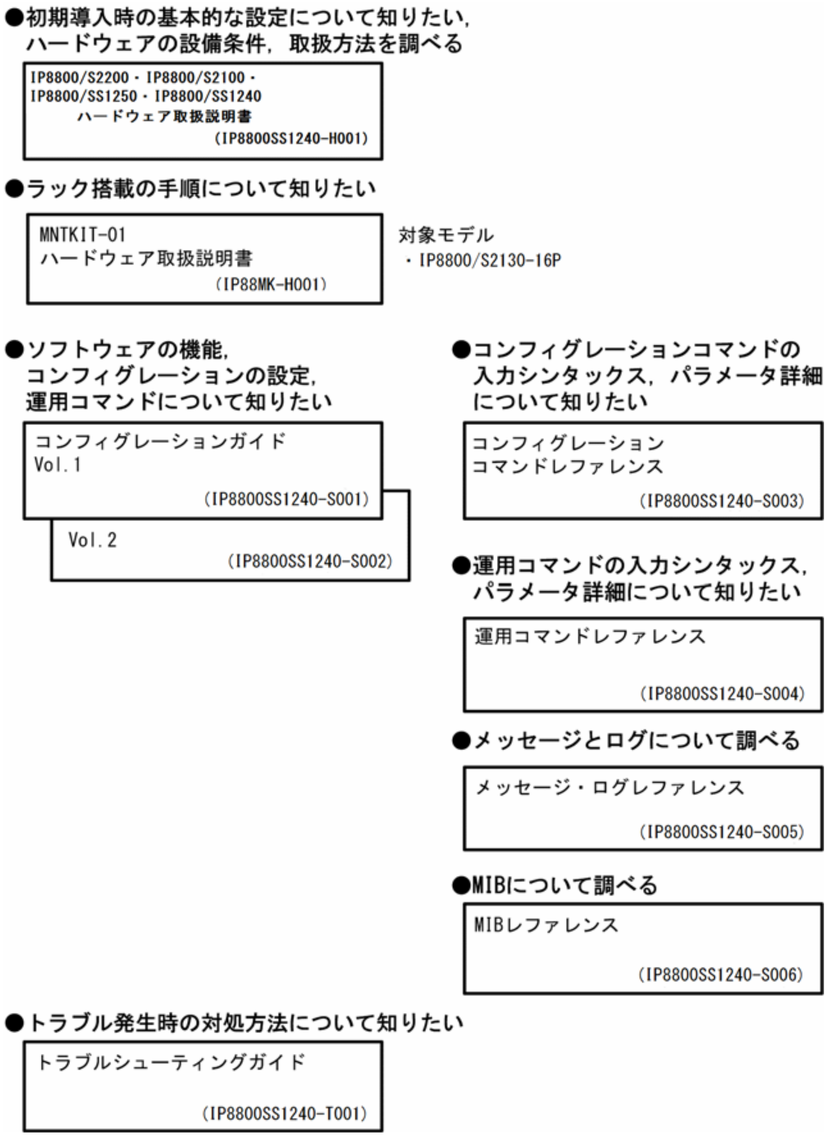
■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

https://jpn.nec.com/ip88n/

■マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。



■このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second　　*bpsと表記する場合もあります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CC	Continuity Check
CDP	Cisco Discovery Protocol

CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FQDN	Fully Qualified Domain Name
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MLD	Multicast Listener Discovery
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance

MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations,Administration,and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second　　*ppsと表記する場合もあります。
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PoE	Power over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SELector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
ULR	Uplink Redundant
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VAA	VLAN Access Agent

VLAN	Virtual LAN
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ kB(バイト) などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト) はそれぞれ 1024 バイト, 1024^2 バイト, 1024^3 バイト, 1024^4 バイトです。

目次

1 運用ログと装置障害ログ

この章ではトラブルが発生した場合にどの部分で障害が発生しているかを特定するための手段となる障害部位，運用ログ，装置障害ログについて説明しています。

1.1　運用ログと装置障害ログの特徴

本装置は動作状態の変化や障害情報など，管理者に通知することを目的とした情報を運用ログや装置障害ログとして運用端末に出力します。装置障害ログは運用端末に出力するほか，装置内に保存します。

運用ログと装置障害ログの特徴を次の表に示します。

表 1-1　運用ログと障害ログ情報の特徴

項目	運用ログ	装置障害ログ
内容	下記の取得対象の情報を時系列に取得します。	最も古い発生時刻から最新の発生時刻までを記録します。
取得の対象とする保守情報	入力したコマンド コマンド応答メッセージ 装置関連の障害およびイベント情報	装置関連の障害情報
取得数	イベントの取得数は 512 エントリです。	ログ取得数は 127 エントリです。
取得数オーバー処理	取得数が 512 エントリを超えた場合は，最も古いイベントが削除され，新しいイベントが追加されます。	ログ取得数が 127 エントリを超えた場合は，新たに取得されたログは廃棄されます。

1.1.1　メッセージのフォーマット

（1）運用ログのフォーマット

運用ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-1　運用ログのフォーマット

```
EVT   LEVEL yy/mm/dd hh:mm:ss   TASK    Message
 1      2           3              4         5
```

1. イベント種別：識別コードを 3 文字の文字列で表示します。
2. イベントレベル
3. 時刻：メッセージで示す事象の発生した時刻を年月日時分秒で表示します。
4. イベント発生部位または機能
5. メッセージテキスト

イベントレベル，イベント発生部位または機能など，メッセージに含まれるコード情報は装置障害ログと同じです。詳細については，「1.1.2　運用ログおよび装置障害ログのコード情報」を参照してください。

（2）装置障害ログのフォーマット

装置障害ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-2　装置障害ログのフォーマット

```
*** Detailed Log Display : Recode Num.=ccc : Ref-Code = xxxxxxxx ***
                                 1                   2
  Time Stamp = yyyy/mm/dd-hh:mm:ss : SysUpTime = dday-hh:mm:ss※
                         3                     4
 *** Log Text Data ***
    （ログの付加情報：テキストデータ）5
 *** Log Binary Data ***
    （ログの付加情報：バイナリデータ） 6
```

1. ログレコード番号

2. 装置障害ログコード（リファレンスコード）
3. 時刻：採取した時刻 (年月日時分秒) をテキスト表示します。
4. 装置起動時からの経過時間※をテキスト表示します。
5. ログ付加情報（テキストデータ）
6. ログ付加情報（バイナリデータ）

注※　経過時間の表示は以下となります。
24 時間以内の場合：hh:mm:ss（hh ＝時，mm ＝分，ss ＝秒）
24 時間を超えた場合：dday-hh:mm:ss（d ＝日数，hh ＝時，mm ＝分，ss ＝秒）

1.1.2　運用ログおよび装置障害ログのコード情報

（1）イベント種別

運用ログに付加されるイベント種別には次の種類があります。

- ユーザのコマンド操作とその結果
- 装置が出力する動作情報
- 障害情報

運用ログとして取得する情報とイベント種別の対応を次の表に示します。運用ログのうち装置関連の障害情報およびイベント情報にはイベントレベルを付加します。

表 1-2　イベント種別とイベントレベルの対応

取得する情報	イベント種別	内容	イベントレベル
入力したコマンド	KEY	オペレータが運用端末から入力したコマンド	−
コマンド応答メッセージ	RSP	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	−
装置関連の障害およびイベント情報	ERR	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	FATAL CRITC ERROR
	EVT	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	WARN INFO

(凡例)　−：該当しません。

（2）イベントレベル

装置関連の障害およびイベント情報は，重要度によって 5 段階でレベル分けされます。イベントレベルと内容を次の表に示します。

表 1-3　イベントレベルと内容

イベントレベル	装置障害ログ	表示内容（種別）	内容
1	○	FATAL（致命的障害）	装置全体が停止する障害 （装置再起動または装置運用停止）
2	○	CRITC（重度障害）	装置の一部が停止する障害 • 障害がハードウェア部分障害の場合，該当ハードウェアの再起動を伴う
3	○	ERROR（ソフトウェア部分障害）	ソフトウェアの一部が停止する障害

イベントレベル	装置障害ログ	表示内容（種別）	内容
4	×	WARN（警告）	警告情報
5	―	―	未使用
6	×	INFO（情報）	運用に関するイベント情報

（凡例）
○：メッセージ表示，または装置障害ログを取得します。
×：メッセージは表示しますが，装置障害ログとしては取得しません。
－：該当しません。

(3) イベント発生部位

発生したイベントの部位または機能を識別子で示します。イベント発生部位を次の表に示します。

表 1-4　イベント発生部位

識別子	イベント発生部位または機能
CONSOLE	コンソール操作
SESSION	Telnet/ コンソール /FTP のログイン・ログアウト操作
TELNETC	Telnet クライアントのログイン・ログアウト操作
STP	スパニングツリー機能
GSRP	GSRP aware 機能
VLAN	VLAN 制御機能
VLAN（Ring Protocol）	Ring Protocol 機能
VLAN（CFM）	Connectivity Fault Management 機能
SNOOP	IGMP/MLD snooping 機能
DHCP	Web 認証用 DHCP サーバ機能
LINKAGG	リンクアグリゲーション機能
DHCPSN	DHCP snooping 機能
IP	IP 制御機能
KERNEL	ソフトウェア制御部
NTP	NTP クライアント機能
802.1X	IEEE802.1X 認証機能
RADIUS	RADIUS 認証機能
CERTIF	MAC/Web 認証機能
HTTPD	Web 認証機能（Web サーバ）
QOS	QoS/ 送信制御機能
FIELD	フィルタ機能
SWOL	セキュア Wake on LAN 機能
ECO	省電力機能
PORT	ポート制御機能
SFP	トランシーバ制御機能

識別子	イベント発生部位または機能
FABRIC	スイッチングドライバ制御部
POE【S2200】【S2100】【SS1240】	PoE 制御部
ULR	アップリンク・リダンダント機能
ROM	ROM 診断
RTC	RTC 機能
THERMO	温度センサ機能
SDCARD	SD カード制御機能
FAN【S2200】【S2100】【SS1240】	FAN 制御機能
LED	LED 機能
SVP	サービスプロセッサ監視機能
PWRSUP	電源制御部
PCI	PCI バス制御部
RAM	RAM 診断
CPU	CPU（内蔵メモリコントローラ）
EQUIPMENT	装置制御機能 【S2100】

（4） イベント発生部位識別子

イベントが発生したインタフェース部位を識別子で示します。本装置のインタフェース部位の部位識別子の表示形式を次の表に示します。

表 1-5　インタフェース部位識別子の表示形式

識別子の表示形式	インタフェース部位
FastEthernet <IF#>	10BASE-T/100BASE-TX インタフェース部
GigabitEthernet <IF#>	10BASE-T/100BASE-TX /1000BASE-T/1000BASE-X インタフェース部【S2200】【S2100】
	1000BASE-T/100BASE-FX/1000BASE-X インタフェース部【SS1250】
	1000BASE-T/1000BASE-X インタフェース部【SS1240】

(凡例)

<IF#> : インタフェースポート番号（例 : FastEthernet 0/1）

1.2　本書の表の見かた

「2　装置関連の障害およびイベント情報」は下表の形式で記載しています。

表 1-6　表の見かた

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO
WARN
ERROR
CRITC
FATAL(※)</td><td>表 1-4 に示すイベント発生部位</td><td>表1-3に示す装置障害ログの場合のみ記載有</td><td>メッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="4">メッセージの意味。
[対応]
対応可能なものは，対応方法を記載しています。
対応不要なもの，または対応方法がない場合は，「なし」と記載しています。</td></tr>
</table>

（※）運用コマンド show logging では，イベントレベル＝ FATAL の情報は表示されません。

2 装置関連の障害およびイベント情報

この章では，装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明します。装置関連の障害およびイベント情報は，すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる 5 段階にレベル分けされています。

2.1　コンフィグレーション

2.1.1　イベント発生部位＝ CONSOLE

イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-1　イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>CONSOLE</td><td></td><td>Line:< 行 > Command error (No in configure mode) : [< 入力コマンド >]</td></tr>
<tr><td colspan="4">< 行 > 目の < 入力コマンド > でコンフィグレーションコマンドではないため，コマンド入力エラーが発生しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>CONSOLE</td><td></td><td>Line:< 行 > Command error : [< 入力コマンド >]</td></tr>
<tr><td colspan="4">< 行 > 目の < 入力コマンド > で，コマンド入力エラーが発生しました。
[対応]
運用コマンド show startup-config で表示された Config の該当行の設定を訂正入力してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>CONSOLE</td><td></td><td>Cannot read a startup-config file.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタートアップコンフィグレーションファイルが読めませんでした。
[対応]
・ 運用コマンド erase startup-config によりスタートアップコンフィグレーションファイルが削除されている可能性があります。再度コンフィグレーションコマンドで設定のうえ，スタートアップコンフィグレーションファイルに保存し，装置を再起動してください。
・ 内蔵フラッシュメモリ上のスタートアップコンフィグレーションファイルが壊れている可能性があります。運用コマンド erase startup-config でファイルを削除し，再度コンフィグレーションコマンドで設定のうえ，スタートアップコンフィグレーションファイルに保存し，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>CONSOLE</td><td></td><td>Configuration file is empty.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタートアップコンフィグレーションファイルの中が空でした。
[対応]
運用コマンド copy running-config startup-config を実行して，コンフィグレーションファイルを保存し，装置を再起動してください。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-2　イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>CONSOLE</td><td></td><td>Can not execute config command.</td></tr>
<tr><td colspan="4">運用コマンド show running-config が実行できませんでした。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● CRITC 情報

表 2-3 イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の CRITC 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>CRITC</td><td>CONSOLE</td><td>18200001</td><td>Software error.</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置起動時の初期化処理においてセマフォ ID 処理に異常が発生しました。
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
</table>

2.2　ログイン

2.2.1　イベント発生部位＝ SESSION

イベント発生部位 =SESSION の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-4　イベント発生部位 =SESSION の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>SESSION</td><td></td><td>Login xxxxxxxx from console.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(console) でユーザ (xxxxxxxx) がログインしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>SESSION</td><td></td><td>Logout xxxxxxxx from console.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(console) のユーザ (xxxxxxxx) がログアウトしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>SESSION</td><td></td><td>Login xxxxxxxx from x.x.x.x (vty0).</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet(vty0) でユーザ (xxxxxxxx from x.x.x.x) がログインしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
from x.x.x.x：リモートログインしたユーザの IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>SESSION</td><td></td><td>Logout xxxxxxxx from x.x.x.x (vty0)</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet(vty0) のユーザ (xxxxxxxx from x.x.x.x) がログアウトしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
from x.x.x.x：リモートログインしたユーザの IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>SESSION</td><td></td><td>Login xxxxxxxx from x.x.x.x (vty1).</td></tr>
<tr><td colspan="4">すでに Telnet ログイン済みの状態で，Telnet(vty1) でユーザ (xxxxxxxx from x.x.x.x) がログインしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
from x.x.x.x：リモートログインしたユーザの IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>SESSION</td><td></td><td>Logout xxxxxxxx from x.x.x.x (vty1).</td></tr>
<tr><td colspan="4">すでに Telnet ログイン済みの状態で，Telnet(vty1) のユーザ (xxxxxxxx from x.x.x.x) がログアウトしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
from x.x.x.x：リモートログインしたユーザの IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
7	INFO	SESSION		**Login xxxxxxxx from x.x.x.x (ftp).**
	FTP でユーザ (xxxxxxxx　from x.x.x.x) がログインしました。 xxxxxxxx：ユーザ名 from x.x.x.x：リモートログインしたユーザの IP アドレス [対応] なし。			
8	INFO	SESSION		**Logout xxxxxxxx from x.x.x.x (ftp).**
	FTP のユーザ (xxxxxxxx　from x.x.x.x) がログアウトしました。 xxxxxxxx：ユーザ名 from x.x.x.x：リモートログインしたユーザの IP アドレス [対応] なし。			
9	INFO	SESSION		**Login incorrect xxxxxxxx.**
	ログインに失敗しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
10	INFO	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS server configuration is not defined.**
	RADIUS 認証用の RADIUS サーバが設定されていません。 xxxxxxxxx：ユーザ名 [対応] RADIUS サーバ情報を設定してください。			
11	INFO	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS accept.**
	RADIUS 認証に成功しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
12	INFO	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS reject.**
	RADIUS 認証に失敗しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
13	INFO	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS no response.**
	RADIUS 認証で，RADIUS サーバから応答がありませんでした。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
14	INFO	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS over request.**
	RADIUS 認証で，RADIUS サーバへの同時最大送信数（256）を超過しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
15	INFO	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS UDP send error.**
	RADIUS 認証で，RADIUS サーバへのパケット送信が失敗しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
16	INFO	SESSION		**Unknown host address x.x.x.x**
	Telnet または FTP で本装置に接続しようとしましたが，"x.x.x.x" からの接続を許可しませんでした。 x.x.x.x：Telnet または FTP で接続しようとした IP アドレス [対応] 1. 本装置に対して不正なアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセスが行われた可能性があります。"x.x.x.x" のリモートアクセスを確認してください。 2. "x.x.x.x" からのリモートアクセスを許可している場合は，コンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションの設定内容を確認してください。 3. "x.x.x.x" からのリモートアクセスを許可したい場合は，コンフィグレーションでアクセス許可を設定してください。			
17	INFO	SESSION		**Login refused for too many users logged in.**
	Telnet まはた FTP で接続しようとしましたが，ログインユーザ数をオーバしたため，接続を許可しませんでした。 [対応] 1. 現在ログインしているユーザ数を確認してください。 2. 必要であれば，コンフィグレーションでログインできるユーザ数の制限を増加させてください。			

● WARN 情報

表 2-5　イベント発生部位 =SESSION の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS invalid server specified.**
	RADIUS 認証で内部エラーが発生しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
2	WARN	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS return error.**
	RADIUS 認証で内部エラーが発生しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
3	WARN	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS msgid use over. use = xx**
	RADIUS 認証で内部エラー（メッセージ queue 異常）が発生しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 use=xx：メーカ解析用情報 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
4	WARN	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS message queue time out.**
	RADIUS 認証で内部エラー（メッセージ queue 異常）が発生しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
5	WARN	SESSION		**Authentication login xxxxxxxx RADIUS message queue error.**
	RADIUS 認証で内部エラー（メッセージ queue 異常応答）が発生しました。 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			

2.2.2　イベント発生部位＝ TELNETC

イベント発生部位 =TELNETC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-6　イベント発生部位 =TELNETC の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	TELNETC		**socket open error**
	ホストとの接続に失敗しました。 [対応] 再度ログインしてください。			
2	INFO	TELNETC		**socket option set errors**
	ホストとの接続に失敗しました。 [対応] 再度ログインしてください。			
3	INFO	TELNETC		**connection time out**
	接続はタイムアウトにより失敗しました。 [対応] 相手装置が Telnet ログインを許可しているか確認して，再度ログインしてください。			
4	INFO	TELNETC		**rejection echo option of server**
	エコー要求に拒否されました。 [対応] なし。			
5	INFO	TELNETC		**rejection full duplex option of server**
	全二重通信要求に拒否されました。 [対応] なし。			
6	INFO	TELNETC		**close session x.x.x.x (Serial)**
	RS-232C(Serial) のユーザにより強制切断されました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
7	INFO	TELNETC		**close session x.x.x.x (Telnet)**
	Telnet のユーザにより強制切断されました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			
8	INFO	TELNETC		**disconnected of logout x.x.x.x (Serial)**
	RS-232C(Serial) のユーザにより Telnet クライアントセッションは正常にログアウトしました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			
9	INFO	TELNETC		**disconnected of logout x.x.x.x (Telnet)**
	Telnet のユーザにより Telnet クライアントセッションは正常にログアウトしました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			
10	INFO	TELNETC		**disconnected x.x.x.x (Serial)**
	RS-232C(Serial) のユーザから Telnet クライアントセッションが切断されました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			
11	INFO	TELNETC		**disconnected x.x.x.x (Telnet)**
	Telnet のユーザから Telnet クライアントセッションが切断されました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			
12	INFO	TELNETC		**connected to x.x.x.x (Serial)**
	RS-232C(Serial) のユーザによる Telnet クライアントログインは正常接続しました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			
13	INFO	TELNETC		**connected to x.x.x.x (Telnet)**
	Telnet のユーザによる Telnet クライアントログインは正常接続しました。 x.x.x.x：相手の IP アドレス [対応] なし。			

2.3　プロトコル

2.3.1　イベント発生部位＝ STP

イベント発生部位 =STP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-7　イベント発生部位 =STP の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがフォワーディング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがブロッキング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port (ChGr : <Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがフォワーディング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
・ single：シングルスパニングツリー
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
・ CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
・ MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがブロッキング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
・ single：シングルスパニングツリー
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
・ MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。
<mode>：スパニングツリー種別
・ single：シングルスパニングツリー
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
・ MST：マルチプルスパニングツリー

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(<IF#>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.</td></tr>
<tr><td colspan="4">アクセスポート，プロトコルポート，MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q Tag が付いた BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<Channel group#>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.</td></tr>
<tr><td colspan="4">アクセスポート，プロトコルポート，MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q Tag が付いた BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>: Exceeded the number of the maximum spanning tree.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スパニングツリーで収容できるツリー数を超えました。今後はツリーの追加ができません。
[対応]
ネットワーク構成を見直すか，シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。ただし，多数の VLAN を使用している場合，起動時に本ログが採取されることがありますが，PVST+ を使用していなければ対応不要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>INFO</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-8　イベント発生部位 =STP の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : This bridge becomes the Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置がルートブリッジになりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : This bridge becomes the Designated Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が指定ブリッジになりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">トポロジ変更 BPDU を受信しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST:Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">トポロジ変更 BPDU を受信しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>: Cleared MAC Address Table entry.</td></tr>
<tr><td colspan="4">トポロジ変更 BPDU を受信したため，MAC アドレステーブルのエントリをクリアしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST:Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(MST) : This bridge becomes the CIST Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が CIST ルートブリッジになりました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(CIST) : This bridge becomes the CIST Regional Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が CIST 内部ルートブリッジになりました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>WARN</td><td>STP</td><td></td><td>(MST Instance <MSTI ID>) : This bridge becomes the MSTI Regional Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が MSTI 内部ルートブリッジになりました。
<MSTI ID>：MST インスタンス ID
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
17	WARN	STP		**(CIST) : This bridge becomes the CIST Regional Designated Bridge.**
	本装置が CIST 内部指定ブリッジになりました。 [対応] なし。			
18	WARN	STP		**(MST Instance <MSTI ID>) : This bridge becomes the MSTI Regional Designated Bridge.**
	本装置が MSTI 内部指定ブリッジになりました。 <MSTI ID> : MST インスタンス ID [対応] なし。			

● CRITIC 情報

表 2-9　イベント発生部位 =STP の装置関連の CRITIC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	STP	01200000	**<comment>**
	スパニングツリーで予想外の状態が発生しました。 <comment> : 原因情報（メーカ解析用情報） [対応] なし。			

● FATAL 情報

表 2-10　イベント発生部位 =STP の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	STP	01100000	**<comment>**
	スパニングツリーでメモリ取得失敗など予想外の状態が発生しましたので，装置再起動により回復を図りました。 <comment> : 原因情報（メーカ解析用情報） [対応] ネットワーク構成を見直すか，シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。			

2.3.2　イベント発生部位＝ GSRP

イベント発生部位 =GSRP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● WARN 情報

表 2-11　イベント発生部位 =GSRP の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	GSRP		**aware : MAC Address Table entry cleared, because GSRP flush request received on port <IF#>, GSRP <GSRP ID> VLAN group <VLAN group ID> Source MAC address <MAC address>.**
	GSRP flush request フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <GSRP ID>：GSRP グループ番号（GSRP flush request フレームを送信した GSRP スイッチの情報） <VLAN group ID>：VLAN グループ番号（GSRP flush request フレームを送信した GSRP スイッチの情報） <MAC address>：MAC アドレス（GSRP flush request フレームを送信した GSRP スイッチの情報） [対応] なし。			

2.3.3　イベント発生部位＝ VLAN

イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-12　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	VLAN		**VLAN (<VLAN ID>) Status is Up.**
	VLAN 状態が UP 状態になりました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。			
2	INFO	VLAN		**VLAN (<VLAN ID>) Status is Down.**
	VLAN 状態が DOWN 状態になりました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] VLAN に属している各回線の状態を確認してください。			
3	INFO	VLAN		**The MAC-VLAN MAC Address entry is replaced from dynamic with Configuration.**
	MAC VLAN 動的 MAC アドレスエントリがコンフィグレーションコマンド mac-address のエントリと重複したため，動的 MAC アドレスエントリをコンフィグレーションコマンド mac-address のエントリに置き換えました。 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>The MAC-VLAN MAC Address Configuration can’t be registered at hardware tables.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC VLAN のコンフィグレーションコマンド mac-address によるエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。
[対応]
システム構成の見直しを実施してください。
ただし，ハードウェアが採用しているハッシュ機構の制限により収容条件の最大数まで設定できない場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>The MAC-VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC VLAN の 動的 MAC アドレスエントリがハードウェアに設定できませんでした。
[対応]
システム構成の見直しを実施してください。
ただし，ハードウェアが採用しているハッシュ機構の制限により収容条件の最大数まで設定できない場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2TABLE : Optimize mode x ->> y.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC アドレステーブルでハッシュの競合によるハッシュエントリオーバーが発生しましたが，ハッシュアルゴリズムを最適化 (変更) して回避します。
x : 変更前のハッシュアルゴリズムモード値
y : 変更後のハッシュアルゴリズムモード値
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>VLAN (<VLAN ID>) is auto-registered on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">自動 VLAN 割当により，ポートに自動的に VLAN を登録しました。
<VLAN ID> : VLAN ID
<IF#> : インタフェースポート番号
[対応]
なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>VLAN (<VLAN ID>) is auto-unregistered on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">自動 VLAN 割当解除により，ポートから自動的に VLAN を削除しました。
<VLAN ID> : VLAN ID
<IF#> : インタフェースポート番号
[対応]
なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : Port(<IF#>) inactivated because of loop detection. from port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。
<IF#> : インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : Port(<IF#>) inactivated because of loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。
<IF#> : インタフェースポート番号
<Channel group#> : チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) inactivated because of loop detection. from port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) inactivated because of loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : Port(<IF#>) loop detection. from port (<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ（項番 13 ～ 16）を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : Port(<IF#>) loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ（項番 13 ～ 16）を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<IF#>：インタフェースポート番号
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) loop detection. from port (<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ（項番 13 ～ 16）を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ（項番 13 ～ 16）を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.</td></tr>
<tr><td colspan="4">L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの閉塞を解除します。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
18	INFO	VLAN		**L2LD : Port(<IF#>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.**
	L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの閉塞を解除します。 <IF#> : インタフェースポート番号 [対応] なし。			
19	INFO	VLAN		**L2LD : L2loop detection frame cannot be sent in the port where capacity was exceeded.**
	L2 ループ検知フレームを送信できるポート数が収容条件を超えています。収容条件を超えたポートで L2 ループ検知フレームを送信できません。 [対応] L2 ループ検知フレームを送信するポート数を減らしてください。 ただし，多数の VLAN を使用した場合，装置起動時に本ログが採取されることがあります。 本ログ採取時，運用コマンド show loop detection にて Configuration の値が Capacity 以下の場合は問題ありません。			

● WARN 情報

表 2-13　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	VLAN		**L2TABLE : Cannot optimize mode (config).**
	MAC アドレステーブルでハッシュの競合によるハッシュエントリオーバーが発生しました。しかし，コンフィグレーションコマンドでハッシュアルゴリズムモードを固定にしているため回避できません。 [対応] コンフィグレーションコマンド system l2-table mode を auto に設定することで，ハッシュアルゴリズムモードが自動選択モードに切り替わり，ハッシュの競合を回避することができます。			
2	WARN	VLAN		**L2TABLE : Cannot optimize mode (not found).**
	MAC アドレステーブルでハッシュの競合によるハッシュエントリオーバーが発生しました。しかし，ハッシュアルゴリズムモードを最適化 (変更) してもハッシュエントリオーバーが発生するため回避できません。 [対応] システム構成の見直しを実施してください。			
3	WARN	VLAN		**L2TABLE : Cannot optimize mode (error).**
	MAC アドレステーブルでハッシュの競合によるハッシュエントリオーバーが発生しました。しかし，メモリの確保不可によりハッシュアルゴリズムモードの最適化ができないため回避できません。 [対応] システム構成の見直しを実施してください。			

● FATAL 情報

表 2-14　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>VLAN</td><td>07100201</td><td>L2LD : SendTask process VLANCallBackSetErr[xx].</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLANCALLBACK 関数登録時にエラーが発生しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
</table>

2.3.4　イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）

イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-15　イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>AXRP <Ring ID> : cleared MAC address table by receiving flush request frames.</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，出力先がリングポートである MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>AXRP <Ring ID> : cleared MAC address table by timeout of forwarding-shift-timer.</td></tr>
<tr><td colspan="4">forwarding-shift-time のタイムアウトによって，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，トランジットノードで forwarding-shift-time によってタイムアウトを検出し，MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>AXRP(virtual-link <Link ID>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ring Protocol で仮想リンクのフラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルエントリをクリアしました。このメッセージは，すべてのリングポートで学習している MAC アドレステーブルエントリをクリアした場合に出力されます。
<Link ID>：仮想リンク ID
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
4	INFO	VLAN		**AXRP (multi-fault-detection <Ring ID>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.**
	多重障害用のフラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，多重障害監視を適用しているリング ID に対応したリングポートの MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 <Ring ID>：リング ID [対応] なし。			

● FATAL 情報

表 2-16　イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	VLAN	07100701	Swd Configuration Error. <comment>
	Ring Protocol のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。 <comment>：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.3.5　イベント発生部位＝ VLAN（CFM）

イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-17　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	VLAN		MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of OtherCCM in MEP <MEPID>.
	該当 MEP で障害（OtherCCM）を検出しました。 <Level>：ドメインレベル <No.>：MA 識別番号 <MEPID>：MEP ID [対応] 対向装置を同一 MA として認識していません。 ドメインレベル，MA 識別番号，ドメイン名称，MA 名称が対向装置と一致しているか確認してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of ErrorCCM in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（ErrorCCM）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置と構成が一致していません。
MEP ID が対向装置と異なっているか，送信間隔（interval）が対向装置と一致しているか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of Timeout in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（Timeout）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置から CCM を受信していません。
ネットワークの状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of PortState in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（PortState）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置の回線障害またはポートのブロッキング状態を検出しました。
対向装置の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>VLAN</td><td></td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of RDI in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（RDI）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置で障害を検出しています。
対向装置の状態を確認してください。</td></tr>
</table>

● CRITC 情報

表 2-18　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の CRITC 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>CRITC</td><td>VLAN</td><td>07200500</td><td>Could not start CFM function. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">CFM 機能を起動できませんでした。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
</table>

● FATAL 情報

表 2-19　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>VLAN</td><td>07100510</td><td>Swd Configuration Error. (Code1=xx Code2=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">CFM のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.3.6　イベント発生部位＝ SNOOP

イベント発生部位 =SNOOP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-20　イベント発生部位 =SNOOP の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>The number of the snooping entry exceeded the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">IPv4 マルチキャストグループを登録しようとしましたが，IGMP/MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件（最大 500）を超えています。
[対応]
収容条件を超えているので，エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>The number of the snooping entry exceeded the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">IPv6 マルチキャストグループを登録しようとしましたが，IGMP/MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件（最大 500）を超えています。
[対応]
収容条件を超えているので，エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>IGMP querier changed on VLAN <ID> - lost IGMP querier address <IPv4 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記の理由により，IPv4 マルチキャストグループメンバー（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv4 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。
VLAN<VLAN ID> 上の IGMP クエリア <IPv4 address> からの広告（IGMP Query）がなくなったため，IGMP クエリア情報を削除しました。
本装置が IGMP クエリアの場合に，VLAN<VLAN ID> の IP アドレスを削除したため，IGMP クエリア情報を削除しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv4 address>：IPv4 アドレス
[対応]
1. IGMP クエリア <IPv4 address> との接続を確認してください。
2. IGMP クエリア変更メッセージ（IGMP querier changed on VLAN <VLAN ID> - new IGMP querier address <IPv4 address>.）が出力されているか確認してください。
3. IGMP クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ip igmp snooping querier を実行して本装置の IGMP クエリア機能を有効にしてください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>MLD querier changed on VLAN <VLAN ID> - lost MLD querier address <IPv6 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記の理由により，IPv6 マルチキャストグループメンバー（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv6 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。
VLAN <VLAN ID> 上の MLD クエリア <IPv6 address> からの広告（MLD Query）がなくなったため，MLD クエリア情報を削除しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv6 address>：IPv6 アドレス
[対応]
1. MLD クエリア <IPv6 address> との接続を確認してください。
2. MLD クエリア変更メッセージ(MLD querier changed on VLAN <VLAN ID> - new MLD querier address <IPv6 address>.）が出力されているか確認してください。
3. MLD クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ipv6 mld snooping querier を実行して本装置の MLD クエリア機能を有効にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>IGMP querier changed on VLAN <VLAN ID> - new IGMP querier address <IPv4 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上に新たな IGMP クエリアを確認したため，IGMP クエリアを <IPv4 address> に変更しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv4 address>：IPv4 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>MLD querier changed on VLAN <VLAN ID> - new MLD querier address <IPv6 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上に新たな MLD クエリアを確認したため，MLD クエリアを <IPv6 address> に変更しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv6 address>：IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>IPv4 address not defined on VLAN <VLAN ID>, IGMP querier function stopped.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上の IGMP クエリアは IPv4 アドレスが設定されていないため停止しています。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
1. 当該 VLAN に IPv4 アドレスを設定してください。
2. 運用コマンド show igmp-snooping を使用し，当該 VLAN に設定した IPv4 アドレスが表示されるか確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>INFO</td><td>SNOOP</td><td></td><td>MLD query message source address not defined on VLAN <VLAN ID>,MLD querier function stopped.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上の MLD クエリアは MLD query メッセージ送信元 IP アドレスが設定されていないため停止しています。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
1. 当該 VLAN に MLD snooping 送信元 IPv6 アドレスを設定してください。
2. 運用コマンド show mld-snooping を使用し，当該 VLAN に設定した IPv6 アドレスが表示されるか確認ください。</td></tr>
</table>

● FATAL 情報

表 2-21　イベント発生部位 =SNOOP の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	SNOOP	2e113110	**IGMPsnooping: set snooping enable to filter by config, error(error code) occurred on VLAN <VLAN ID>.**
	VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる IGMP snooping 開始設定でエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
2	FATAL	SNOOP	2e123110	**MLDsnooping: set snooping enable to filter by config, error(error code) occurred on VLAN <VLAN ID>.**
	VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる MLD snooping 開始設定でエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
3	FATAL	SNOOP	2e113100	**IGMPsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる IGMP snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
4	FATAL	SNOOP	2e123100	**MLDsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる MLD snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
5	FATAL	SNOOP	2e113200	**IGMPsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	IGMP snooping が有効な VLAN <VLAN ID> 削除による，ハードウェアへの IGMP snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
6	FATAL	SNOOP	2e123200	**MLDsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	MLD snooping が有効な VLAN <VLAN ID> 削除による，ハードウェアへの MLD snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>FATAL</td><td>SNOOP</td><td>2e113301</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by snoop start, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> の IGMP snooping 開始時，ハードウェアへのルータポート <IF#> でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>FATAL</td><td>SNOOP</td><td>2e123301</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by snoop start, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> の MLD snooping 開始時，ハードウェアへのルータポート <IF#> でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>FATAL</td><td>SNOOP</td><td>2e113311</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート <IF#> 設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>FATAL</td><td>SNOOP</td><td>2e123311</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート <IF#> 設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>FATAL</td><td>SNOOP</td><td>2e113321</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by accommodated to vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に未収容のポート（port<IF#>）が VLAN へ収容されたことによるハードウェアへのルータポート <IF#> 設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>FATAL</td><td>SNOOP</td><td>2e123321</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by accommodated to vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に未収容のポート（port<IF#>）が VLAN へ収容されたことによるハードウェアへのルータポート <IF#> 設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
13	FATAL	SNOOP	2e113310	**IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート <IF#> 設定解除時にエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
14	FATAL	SNOOP	2e123310	**MLDsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート <IF#> 設定解除時にエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
15	FATAL	SNOOP	2e113320	**IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by excluded vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に収容されているポート（port<IF#>）が VLAN から離脱したことによるハードウェアへの IGMP snooping ルータポート <IF#> 設定時解除にエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
16	FATAL	SNOOP	2e123320	**MLDsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by excluded vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に収容されているポート（port<IF#>）が VLAN から離脱したことによるハードウェアへの MLD snooping ルータポート <IF#> 設定時解除にエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.3.7　イベント発生部位＝ DHCP

イベント発生部位 =DHCP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-22　イベント発生部位 =DHCP の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	DHCP		**The not used IP address which a dhcp_server can lease out is not a subnet <SUBNET_ADDRESS>.**
	DHCP サーバからリースする未使用の IP アドレスが，サブネットアドレスにありません。 <SUBNET_ADDRESS>：サブネットアドレス [対応] DHCP サーバから割り当て可能なサブネットの，DHCP クライアントの最大数を調査してください。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
2	INFO	DHCP		**The dhcp_server reused the abandoned IP address <IP_ADDRESS>.**
	DHCP サーバは，廃棄された IP アドレスを再利用しました。 <IP_ADDRESS>：再利用した IP アドレス値 [対応] なし。			
3	INFO	DHCP		**The IP address <IP_ADDRESS> which the dhcp_server schedule to lease out is already used by others.**
	DHCP サーバが貸し出そうとした IP アドレスは，すでに他で使用されています。 <IP_ADDRESS>：貸し出そうとした IP アドレス値 [対応] なし。			

2.3.8　イベント発生部位＝ LINKAGG

イベント発生部位 =LINKAGG の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-23　イベント発生部位 =LINKAGG の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	LINKAGG		**Port <IF#> detached from Channel Group <Channel group#>.**
	ポート <IF#> はチャネルグループから離脱しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] 1.　相手装置と正しく接続しているか確認してください。 2.　相手装置の設定が正しいか確認してください。			
2	INFO	LINKAGG		**Channel Group <Channel group#> is Down.**
	チャネルグループが Down 状態になりました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] 1.　回線がダウンしていないか確認してください。 2.　回線が半二重になっていないか確認してください。 3.　相手装置の LACP 設定が正しいか確認してください。			
3	INFO	LINKAGG		**Port <IF#> attached to Channel Group <Channel group#>.**
	チャネルグループにポートが集約されました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
4	INFO	LINKAGG		**Channel Group <Channel group#> is Up.**
	チャネルグループが Up 状態になりました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			

2.3.9　イベント発生部位＝ DHCPSN

イベント発生部位 =DHCPSN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-24　イベント発生部位 =DHCPSN の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>DHCPSN</td><td></td><td>The binding entry created(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPACK/BOOTPREPLY 受信により，バインディングデータベースを生成しました。
なお，装置起動時にバインディングデータベースを復元する際にも，このログが出力されます。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>DHCPSN</td><td></td><td>The binding entry timeout(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">エージング時間満了によりバインディングデータベースを削除しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>DHCPSN</td><td></td><td>The binding entry was deleted by received DHCPRELEASE(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPRELEASE 受信によりバインディングデータベースを削除しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>DHCPSN</td><td></td><td>The binding entry was deleted by received DHCPDECLINE(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPDECLINE 受信によりバインディングデータベースを削除しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
5	INFO	DHCPSN		**The binding entry is replaced from dynamic with Configuration(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).**
	ダイナミック学習したバインディングデータベースと同一の IP アドレス /VLAN 番号を，コンフィグレーションコマンド ip source binding でバンディングデータベースに設定されたため，バインディングデータベースの内容をコンフィグレーションコマンド ip source binding の設定内容に変更しました。 <MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報 <MAC_ADDRESS>：MAC アドレス <VLAN ID>：VLAN ID <IP_ADDRESS>：IP アドレス [対応] なし。			
6	INFO	DHCPSN		**The binding entry was renewed(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).**
	DHCPACK/BOOTPREPLY 受信により，DHCP クライアント端末へ配布した IP アドレスに対応する MAC アドレスまたは接続ポートの変更を検出したので，バインディングデータベースを更新しました。 <MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報 <MAC_ADDRESS>：MAC アドレス <VLAN ID>：VLAN ID <IP_ADDRESS>：IP アドレス [対応] なし。			
7	INFO	DHCPSN		**It failed to make binding entry because interface unknown(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).**
	DHCP クライアント端末の接続ポートが不明のため，バインディングデータベースの生成 / 更新に失敗しました。 <MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報 <MAC_ADDRESS>：MAC アドレス <VLAN ID>：VLAN ID <IP_ADDRESS>：IP アドレス [対応] なし。			
8	INFO	DHCPSN		**Observed ARP flood, some packets shall be discarded (<IF_NUMBER>).**
	ARP パケットの受信数がコンフィグレーションコマンド ip arp inspection limit rate で設定した受信レートを超過しました。 <IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号 • Port=<IF#>：インタフェースポート番号 • ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
9	INFO	DHCPSN		**ARP flood ebbed (<IF_NUMBER>).**
	ARP パケットの受信レート設定を超過していない時間が 30 秒間継続しました。(以降に受信レート超過が発生すると，再度受信レート超過のイベントが採取されます。) <IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号 • Port=<IF#>：インタフェースポート番号 • ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
				内容
10	INFO	DHCPSN		**Observed DHCP flood, some packets shall be discarded (<IF_NUMBER>).**
	DHCP パケットの受信数がコンフィグレーションコマンド ip dhcp snooping limit rate で設定した受信レートを超過しました。 <IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号 • Port=<IF#>：インタフェースポート番号 • ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
11	INFO	DHCPSN		**DHCP flood ebbed (<IF_NUMBER>).**
	DHCP パケットの受信レート設定を超過していない時間が 30 秒間継続しました。（以降に受信レート超過が発生すると，再度受信レート超過のイベントが採取されます。） <IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号 • Port=<IF#>：インタフェースポート番号 • ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
12	INFO	DHCPSN		**It failed to make binding entry exceeded(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).**
	データベースエントリ不足によりバインディングデータベース生成に失敗しました。 <MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報 <MAC_ADDRESS>：MAC アドレス <VLAN ID>：VLAN ID <IP_ADDRESS>：IP アドレス [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直ししてください。			
13	INFO	DHCPSN		**It succeeded in the restored of binding database from <url>.[retry]**
	指定保存先からバインディングデータベースを復元しました。 <url>：指定保存先 • flash：内蔵フラッシュメモリ • mc：SD メモリカード [retry]：リトライ回数 [対応] なし。			
14	INFO	DHCPSN		**It succeeded in the restored of binding database from <url>.[retry](<reason>)**
	指定保存先からバインディングデータベースを復元しました。 <url>：指定保存先 • flash：内蔵フラッシュメモリ • mc：SD メモリカード [retry]：リトライ回数 <reason>：理由 • The number of the dynamic entries zero.（ダイナミックエントリは 0 件でした） [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
15	INFO	DHCPSN		**DHCP server packets were received at an untrust port(<IF_NUMBER>/<VLAN ID>/<MAC_ADDRESS>/<IP_ADDRESS>).**
	不正な DHCP サーバを検出しました。本メッセージはポート単位で 5 分間に 1 回メッセージを出力します。 <IF_NUMBER>：DHCP パケットを受信したインタフェース種別と番号 ・ <IF#>：インタフェースポート番号 ・ ChGr：<Channel group#>：チャネルグループ番号 <VLAN ID>/<MAC_ADDRESS>/<IP_ADDRESS>：DHCP サーバ情報 <VLAN ID>：VLAN ID <MAC_ADDRESS>：MAC アドレス <IP_ADDRESS>：IP アドレス [対応] 接続されている装置を確認してください。			

● WARN 情報

表 2-25　イベント発生部位 =DHCPSN の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	DHCPSN		**It was not able to restore binding database from <url>.[retry](<reason>)**
	指定保存先からバインディングデータベースを復元できませんでした。 <url>：指定保存先 ・ flash：内蔵フラッシュメモリ ・ mc：SD メモリカード [retry]：リトライ回数 <reason>：失敗理由 ・ MC is not inserted.（MC が挿入されていません） ・ MC file is not found.（MC 内のファイルが見つかりません） ・ It is accessed MC by other processing.（他の処理で MC を使用中です） ・ It is accessed Flash by other processing.（他の処理で内蔵フラッシュメモリを使用中です） ・ MC file is not reading.（MC 内のファイルを読み込みできません） ・ May be broken.（コンフィグレーションで指定した保存先が壊れている可能性があります） ・ The data is not saved.（復元できるデータがありません） 上記以外の <reason> は，メーカ解析用情報 [対応] <reason> により対応してください。			
2	WARN	DHCPSN		**It cannot store a binding database(<reason>).**
	バインディングデータベースを保存できません。 <reason>：失敗理由 ・ MC is not inserted.（MC が挿入されていません） ・ Can't access to MC by write protection.（MC が読み込み専用です） [対応] <reason> により対応してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>WARN</td><td>DHCPSN</td><td></td><td>It was not able to store binding database in <url>.[retry] (<reason>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">バインディングデータベースを指定保存先に保存できませんでした。
<url>：指定保存先
• mc：SD メモリカード
[retry]：リトライ回数
<reason>：失敗理由
• MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
• Can't access to MC by write protection.（MC が読み込み専用です）
• It is accessed MC by other processing.（他の処理で MC を使用中です）
• MC file is not writing.（MC 内のファイルに書き込みができません）
上記以外の <reason> は，メーカ解析用情報
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
</table>

● ERROR 情報

表 2-26　イベント発生部位 =DHCPSN の装置関連の ERROR 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>ERROR</td><td>DHCPSN</td><td>31300016</td><td>It was not able to store binding database in <url>.[retry] (<reason>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">バインディングデータベースを指定保存先に保存できませんでした。
<url>：指定保存先
• flash：内蔵フラッシュメモリ
[retry]：リトライ回数
<reason>：失敗理由
• It is accessed Flash by other processing.（他の処理で内蔵フラッシュメモリを使用中です）
上記以外の <reason> は，メーカ解析用情報
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
</table>

2.3.10　イベント発生部位＝ IP

イベント発生部位 =IP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-27　イベント発生部位 =IP の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>IP</td><td></td><td>Duplicate IP address x.x.x.x (VLAN<VLAN ID>) on xxxx.xxxx.xxxx.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN<VLAN ID> インタフェースで，IP アドレス重複を検出しました。
x.x.x.x：重複を検出した IP アドレス
VLAN<VLAN ID>：重複を検出した IP アドレスが設定されている VLAN インタフェース番号
xxxx.xxxx.xxxx：重複した IP アドレスを持つ相手装置の MAC アドレス
（ARP ペイロード中の送信元 MAC アドレス）
[対応]
本装置の VLAN インタフェースの IP アドレスを変更してください。または，重複した相手装置の IP アドレスを変更してください。</td></tr>
</table>

2.4　装置の各部位

2.4.1　イベント発生部位＝ KERNEL

イベント発生部位 =KERNEL の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-28　イベント発生部位 =KERNEL の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	KERNEL		**Boot cause is system fault.**
	何らかの障害が発生し，装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
2	INFO	KERNEL		**Boot cause is exception.**
	例外割り込みが発生し，装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
3	INFO	KERNEL		**Boot cause is watchdog timeout.**
	ハードウェアウォッチドッグタイムアウトが発生し，装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
4	INFO	KERNEL		**Boot cause is reset button.**
	RESET スイッチが押されたため，装置を再起動しました。 [対応] なし。			
5	INFO	KERNEL		**Boot cause is expired sleep time.**
	装置スリープ期間の満了により，装置を再起動しました。 [対応] なし。			
6	INFO	KERNEL		**Boot cause is wake up from sleep by force.**
	装置スリープ状態を強制的に解除したため，装置を再起動しました。 [対応] なし。			

● ERROR 情報

表 2-29 イベント発生部位 =KERNEL の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	KERNEL	1F336000	**<xxxxxxxx> WDT Error !!**
	ソフトウェアウォッチドッグタイムアウトが発生しました。 <xxxxxxxx>：発生箇所（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド show critical-logging で装置障害ログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
2	ERROR	KERNEL	1F337000	**WDT is detected (by HW)**
	ハードウェアウォッチドッグタイムアウトが発生しました。 [対応] 運用コマンド show critical-logging で装置障害ログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
3	ERROR	KERNEL	1F338000	**The reboot of other origin is detected.（レジスタ情報）**
	ソフトウェア異常をカーネルが検出し装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show critical-logging で装置障害ログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
4	ERROR	KERNEL	上記以外の 1Fxxxxxx	**上記以外**
	カーネルで内部エラーを検出しました。 [対応] 運用コマンド show critical-logging で装置障害ログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			

2.4.2 イベント発生部位＝ NTP

イベント発生部位 =NTP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-30 イベント発生部位 =NTP の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	NTP		**NTPC:Fixation time was not notified!**
	コマンド実行中に定期更新時間になったため，定期監視通知を中止しました。 [対応] なし。			
2	INFO	NTP		**NTPC:Time was set up. (Difference in 5 sec or more!)**
	時刻を設定しましたが，5 秒以上ずれています。 [対応] なし。			

2.4.3　イベント発生部位＝ 802.1X

イベント発生部位 =802.1X の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● ERROR 情報

表 2-31　イベント発生部位 =802.1X の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	802.1X	08330011	**There is a possibility that 802.1X(port) was not set in some interfaces.**
	いくつかのインタフェースで 802.1X(ポート単位認証) を設定できなかった可能性があります。 [対応] いったん no コマンドで削除し，再度設定をし直してください。			
2	ERROR	802.1X	08330012	**There is a possibility that 802.1X(port) was not unset in some interfaces.**
	いくつかのインタフェースで 802.1X（ポート単位認証）を解除できなかった可能性があります。 [対応] コマンドを再設定し，再度 no コマンドで削除してください。			
3	ERROR	802.1X	08330013	**There is a possibility that 802.1X(vlan(dynamic)) was not set in some interfaces.**
	いくつかのインタフェースで 802.1X(VLAN 単位認証（動的）) を設定できなかった可能性があります。 [対応] いったん no コマンドで削除し，再度設定をし直してください。			
4	ERROR	802.1X	08330014	**There is a possibility that 802.1X(vlan(dynamic)) was not unset in some interfaces.**
	いくつかのインタフェースで 802.1X(VLAN 単位認証（動的）) を解除できなかった可能性があります。 [対応] コマンドをいったん設定し，再度 no コマンドで削除してください。			

● CRITC 情報

表 2-32　イベント発生部位 =802.1X の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	802.1X	08220001 08220002 08220003 08220004 08220005 08220006 08220007 08220008	**Could not start L2-authentication function.**
	装置起動時に L2 認証機能を起動することができませんでした。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
2	CRITC	802.1X	08220011	**Could not start 802.1X Authenticator function.**
	802.1X 機能を起動することができませんでした。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
3	CRITC	802.1X	08220021 08220022 08220031 08220032 08220041	**Internal error occurred. (code=xx).**
	内部処理エラーが発生しました。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

2.4.4　イベント発生部位＝ RADIUS

イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-33　イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	RADIUS		**The authentication dead-interval timer start.**
	プライマリ RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
2	INFO	RADIUS		**The accounting dead-interval timer start.**
	プライマリ RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
3	INFO	RADIUS		**The authentication dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 ・ コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 ・ RADIUS 認証要求先がセカンダリ RADIUS サーバからプライマリ RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
4	INFO	RADIUS		**The accounting dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ RADIUS サーバからプライマリ RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
5	INFO	RADIUS		**The MAC authentication dead-interval timer start.**
	プライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
6	INFO	RADIUS		**The MAC accounting dead-interval timer start.**
	プライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
7	INFO	RADIUS		**The MAC authentication dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS 認証要求先がセカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
8	INFO	RADIUS		**The MAC accounting dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
9	INFO	RADIUS		**The Web authentication dead-interval timer start.**
	プライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
10	INFO	RADIUS		**The Web accounting dead-interval timer start.**
	プライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
11	INFO	RADIUS		**The Web authentication dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS 認証要求先がセカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
12	INFO	RADIUS		**The Web accounting dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
13	INFO	RADIUS		**The 802.1X authentication dead-interval timer start.**
	プライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
14	INFO	RADIUS		**The 802.1X accounting dead-interval timer start.**
	プライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
15	INFO	RADIUS		**The 802.1X authentication dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS 認証要求先がセカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト / 内容
16	INFO	RADIUS		**The 802.1X accounting dead-interval timer stop.**
				下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 ・コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 ・RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。
17	INFO	RADIUS		**The Group[x] authentication dead-interval timer start.**
				RADIUS サーバグループ x でプライマリ RADIUS サーバの障害発生などにより，同じグループ内のセカンダリ RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 x：RADIUS サーバグループ名 [対応] なし。
18	INFO	RADIUS		**The Group[x] authentication dead-interval timer stop.**
				下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 ・コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 ・RADIUS 認証要求先が RADIUS サーバグループ x のセカンダリ RADIUS サーバから同じグループ内のプライマリ RADIUS サーバに復旧したため。 x：RADIUS サーバグループ名 [対応] なし。

● ERROR 情報

表 2-34　イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト / 内容
1	ERROR	RADIUS	10330001	**Cannot set radius-server(host=x.x.x.x) because of internal error.**
				radius-server(IP アドレス =x.x.x.x) を設定できませんでした。 通常はコマンドエラーとなりますが，装置起動時などコンフィグレーションコマンド radius-server を連続投入された場合。いったんコマンドを受け付けた後，内部設定を行うため，その場合に本イベントが発生する可能性があります。) [対応] コンフィグレーションコマンド（radius-server host または radius-server key）が設定された状態になっているので，それをいったん no コマンドで削除，再度設定をし直してください。

● CRITC 情報

表 2-35　イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	RADIUS	10220012	**Could not start RADIUS Client function.**
	RADIUS クライアント機能を起動することができませんでした。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

2.4.5　イベント発生部位＝ CERTIF

イベント発生部位 =CERTIF の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● WARN 情報

表 2-36　イベント発生部位 =CERTIF の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	CERTIF		**File name '<html-file>' is reserved.**
	Web 認証画面入れ替え機能で設定したファイルに管理用ファイル名と重複しているファイル名を検出しました。ファイルの復元には成功しましたが，以下の機能が正常に動作しない可能性があります。 • ポートごとの認証画面入れ替え機能 • セキュア Wake on LAN <html-file>：管理用ファイル名と重複しているファイル名 [対応] 以下の手順を実施し，ファイルを修復してください。 1. 登録済ファイルの取り出し 運用コマンド store web-authentication html-files を実行し，RAMDISK 上に登録済みファイルを取り出します。 2. 登録済みファイルのコピー 運用コマンド copy ramdisk <File name> mc <File name> を実行し，RAMDISK 上の登録済みファイルを MC にコピーします。 3. 登録済みファイルの編集 MC にコピーしたファイルの内容，およびファイル名を PC 上で編集し，ファイル名の重複を解消してください。 4. 登録済みファイルのクリア 運用コマンド clear web-authentication html-files -all を実行し，登録済みファイルをすべて削除してください。 5. 編集したファイルの再登録 運用コマンド set web-authentication html-files を実行し，3. で編集したファイルを再登録します。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
2	WARN	CERTIF		**Directory size over.**
	Web 認証画面入れ替え機能で設定したディレクトリの容量が制限値（256kB）を超えています。 [対応] 以下の手順を実施し，ファイルを修復してください。 1. 登録済ファイルの取り出し 運用コマンド store web-authentication html-files を実行し，RAMDISK 上に登録済みファイルを取り出します。 2. 登録済みファイルのコピー 運用コマンド copy ramdisk <File name> mc <File name> を実行し，RAMDISK 上の登録済みファイルを MC にコピーします。 3. 登録済みファイルの編集 MC にコピーしたファイルの内容を PC 上で編集し，ディレクトリの容量を制限値以内にしてください。 4. 登録済みファイルのクリア 運用コマンド clear web-authentication html-files -all を実行し，登録済みファイルをすべて削除してください。 5. 編集したファイルの再登録 運用コマンド set web-authentication html-files を実行し，3. で編集したファイルを再登録します。			
3	WARN	CERTIF		**Too many files.**
	Web 認証画面入れ替え機能で設定したファイル数の制限値（64 ファイルまで）を超えています。 [対応] 以下の手順を実施し，ファイルを修復してください。 1. 登録済ファイルの取り出し 運用コマンド store web-authentication html-files を実行し，RAMDISK 上に登録済みファイルを取り出します。 2. 登録済みファイルのコピー 運用コマンド copy ramdisk <File name> mc <File name> を実行し，RAMDISK 上の登録済みファイルを MC にコピーします。 3. 登録済みファイルの編集 MC にコピーしたファイルの内容を PC 上で編集し，ファイル数を制限値以内にしてください。 4. 登録済みファイルのクリア 運用コマンド clear web-authentication html-files -all を実行し，登録済みファイルをすべて削除してください。 5. 編集したファイルの再登録 運用コマンド set web-authentication html-files を実行し，3. で編集したファイルを再登録します。			

● CRITC 情報

表 2-37　イベント発生部位 =CERTIF の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	CERTIF	0f212006	**Could not start MAC Authentication function. (Code=xx)**
	MAC 認証機能を起動できませんでした。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
2	CRITC	CERTIF	0f222006	**Could not start Web Authentication function. (Code=xx)**
	Web 認証機能を起動できませんでした。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

● FATAL 情報

表 2-38　イベント発生部位 =CERTIF の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>CERTIF</td><td>0f111011</td><td>Internal error occurred. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能で内部エラーが発生しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>FATAL</td><td>CERTIF</td><td>0f111014</td><td>Failed to <xxxx> driver’s filter. (Code=x, ethernet <IF#>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能でドライバフィルタの制御に失敗しました。
<xxxx>：set または unset
x：原因コード（メーカ解析用情報）
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>FATAL</td><td>CERTIF</td><td>0f111021</td><td>Failed to control timer function. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能でタイマ機能の制御に失敗しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>FATAL</td><td>CERTIF</td><td>0f121011</td><td>Internal error occurred. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">Web 認証機能で内部エラーが発生しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>FATAL</td><td>CERTIF</td><td>0f121021</td><td>Failed to control timer function. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">Web 認証機能でタイマ機能の制御に失敗しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.6　イベント発生部位＝ HTTPD

イベント発生部位 =HTTPD の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-39　イベント発生部位 =HTTPD の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>HTTPD</td><td></td><td>Invalid private key or certificate.</td></tr>
<tr><td colspan="4">SSL 鍵，または証明書が不正です。
[対応]
SSL の証明書および秘密鍵が正しくありません。
正しい SSL の証明書と秘密鍵を入手して，装置に再インストールしてください。</td></tr>
</table>

● ERROR 情報

表 2-40　イベント発生部位 =HTTPD の装置関連の ERROR 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>ERROR</td><td>HTTPD</td><td>32300001</td><td>HTTP server initialization failed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">HTTP サーバの初期化に失敗しました。
[対応]
SSL の証明書および秘密鍵が正しくありません。
正しい SSL の証明書と秘密鍵を入手して，装置に再インストールしてください。</td></tr>
</table>

● FATAL 情報

表 2-41　イベント発生部位 =HTTPD の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>HTTPD</td><td>32100002</td><td>HTTP server task Suspended: xxxxxxxx.</td></tr>
<tr><td colspan="4">HTTP サーバでタスク停止状態が発生しました。
xxxxxxxx：原因情報（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.7　イベント発生部位＝ QOS

イベント発生部位 =QOS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● WARN 情報

表 2-42　イベント発生部位 =QOS の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>QOS</td><td></td><td>Port <IF#> Unable to use traffic-shape rate feature because value exceeding setting range was specified.</td></tr>
<tr><td colspan="4">設定範囲 (使用可能回線速度) 外の値が指定されたため，ポート帯域制御を使用できません。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス traffic-shape rate」の rate パラメータの説明を参照してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>WARN</td><td>QOS</td><td></td><td>Port <IF#> Port half duplex does not support traffic-shape rate feature.</td></tr>
<tr><td colspan="4">半二重回線では，ポート帯域制御を使用できません。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
次のどちらかを実施してください。
1. ポート帯域制御を使用する場合，全二重回線に変更してください。
2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>WARN</td><td>QOS</td><td></td><td>Port <IF#> Unable to use WFQ feature because total value of minimum rate exceeding the maximum rate of the port.</td></tr>
<tr><td colspan="4">最低保証帯域 (min-rate) の合計値が回線の最大送出帯域を超えたため，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
最低保証帯域の合計値が最大送出帯域以内になるようにコンフィグレーションコマンド qos-queue-list で変更してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>WARN</td><td>QOS</td><td></td><td>Port <IF#> Port half duplex does not support WFQ feature.</td></tr>
<tr><td colspan="4">半二重回線では，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
次のどちらかを実施してください。
1. スケジューリングモードで WFQ を使用する場合，全二重回線に変更してください。
2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list で，WFQ を含まないスケジューリングモードに変更してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>WARN</td><td>QOS</td><td></td><td>Port <IF#> Relations between traffic-shape rate and scheduling mode are inconsistent.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート帯域制御とスケジューリングモードの設定が不一致です。
ポート帯域制御を使用する場合，指定可能なスケジューリングモードは PQ です。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
次のどちらかを実施してください。
1. ポート帯域制御を使用する場合，コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list でスケジューリングモードを PQ にしてください。
2. PQ 以外のスケジューリングモードで使用する場合，コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。</td></tr>
</table>

● CRITC 情報

表 2-43　イベント発生部位 =QOS の装置関連の CRITC 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>CRITC</td><td>QOS</td><td>09200001</td><td>Software error.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ソフトウェアエラー (セマフォ ID の異常)
• 装置起動時の初期化処理においてセマフォ ID 生成失敗
• 装置運用コンフィグレーション生成時のセマフォ ID 取得失敗
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
</table>

● FATAL 情報

表 2-44　イベント発生部位 =QOS の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>QOS</td><td>09100000</td><td>Swd Configuration Error. <comment></td></tr>
<tr><td colspan="4">QoS のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。
<comment>：原因情報（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>FATAL</td><td>QOS</td><td>09100010
09100011</td><td>Internal error occurred. <IF#> (code=xxxx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">QoS のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。
• 0910010：レガシーシェーピング関連
• 0910011：ポートシェーピング関連
<IF#>：インタフェースポート番号
xxxx：エラーコード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.8　イベント発生部位＝ FIELD

イベント発生部位 =FIELD の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● FATAL 情報

表 2-45　イベント発生部位 =FIELD の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>FIELD</td><td>0c100000</td><td>Swd Configuration Error. <comment></td></tr>
<tr><td colspan="4">フィルタのコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。
<comment>：原因情報（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.9　イベント発生部位＝ SWOL

イベント発生部位 =SWOL の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-46　イベント発生部位 =SWOL の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>SWOL</td><td></td><td>Login incorrect [User reject] USER=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">ユーザ名，またはパスワード不正のため，セキュア Wake on LAN へのユーザ認証に失敗しました。
USER=xxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>SWOL</td><td></td><td>Login incorrect [Server busy] USER=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">ユーザ管理領域不足のため，セキュア Wake on LAN へのユーザ認証に失敗しました。
USER=xxxx：ユーザ名
[対応]
しばらくしてから再実行してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>SWOL</td><td></td><td>Device not found DEVICENAME=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">選択要求された端末がデータベースに登録されていません。
DEVICENAME=xxxx：端末名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>SWOL</td><td></td><td>User entry expired USER=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">セキュア Wake on LAN でユーザ認証中のユーザがタイムアウトしたため，終了フェーズに移行しました。
USER=xxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>SWOL</td><td></td><td>Magic packet processing was completed USER=xxxx MAC=xxxx.xxxx.xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">起動コマンド送信処理は正常に終了しました。
USER=xxxx：ユーザ名
MAC=xxxx.xxxx.xxxx：端末 MAC アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>SWOL</td><td></td><td>Configuration of DHCP snooping is no set</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCP snooping のコンフィグレーションが設定されていません。
[対応]
DHCP により IP アドレス配布を受ける端末の状態監視を行う場合は，DHCP snooping のコンフィグレーションを設定してください。</td></tr>
</table>

2.4.10　イベント発生部位＝ ECO

イベント発生部位 =ECO の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-47　イベント発生部位 =ECO の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>ECO</td><td></td><td>System changes to the schedule power control because it became schedule time.</td></tr>
<tr><td colspan="4">省電力のスケジュール時間になりました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>ECO</td><td></td><td>System changes from the schedule power control because it ended schedule time.</td></tr>
<tr><td colspan="4">省電力のスケジュール時間が終わりました。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

2.5　ポート

2.5.1　イベント発生部位＝ PORT

イベント発生部位 =PORT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-48　イベント発生部位 =PORT の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 1000M-Full (auto)**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 1000M 全二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーションによる） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
2	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 1000M-Full**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 1000M 全二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
3	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Full (auto)**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 100M 全二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
4	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Full**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 100M 全二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
5	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Half (auto)**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 100M 半二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
6	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Half**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 100M 半二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
7	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Full (auto)**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 10M 全二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
8	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Full**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 10M 全二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
9	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Half (auto)**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 10M 半二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
10	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Half**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> が 10M 半二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
11	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Full (auto)【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 100M 全二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
12	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Full【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 100M 全二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
13	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Half(auto)【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 100M 半二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
14	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 100M-Half【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 100M 半二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
15	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Full (auto)【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 10M 全二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
16	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Full【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 10M 全二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
17	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Half(auto)【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 10M 半二重でリンクアップしました。（オートネゴシエーション設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
18	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed 10M-Half【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> が 10M 半二重でリンクアップしました。（固定設定による） <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
19	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Up/Speed UnKnown**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> のポート速度を特定できませんでした。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
20	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Up/Speed UnKnown【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> のポート速度を特定できませんでした。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
21	INFO	PORT		**GigabitEthernet <IF#> Link Down**
	ギガビットイーサネットポート <IF#> がリンクダウンしました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
22	INFO	PORT		**FastEthernet <IF#> Link Down【SS1250】【SS1240】**
	ファーストイーサネットポート <IF#> がリンクダウンしました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
23	INFO	PORT		**<IF#> is enabled.**
	ポートが Enable になりました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
24	INFO	PORT		**<IF#> is disabled.**
	ポートが Disable になりました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">25</td><td>INFO</td><td>PORT</td><td></td><td>Port <IF#> activated.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート Active が指定されました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">26</td><td>INFO</td><td>PORT</td><td></td><td>Port <IF#> inactivated.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート Inactive が指定されました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">27</td><td>INFO</td><td>PORT</td><td></td><td>Active Medium Change Notification. (<I/F#>, RJ45)</td></tr>
<tr><td colspan="4">インタフェースポートのメディアタイプが RJ45 に切り替わりました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">28</td><td>INFO</td><td>PORT</td><td></td><td>Active Medium Change Notification. (<I/F#>, SFP)</td></tr>
<tr><td colspan="4">インタフェースポートのメディアタイプが SFP に切り替わりました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-49　イベント発生部位 =PORT の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td><IF#> speed setting failed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">速度の設定に失敗しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
再設定してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td><IF#> duplex setting failed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Duplex の設定に失敗しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
再設定してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td><IF#> flowcontrol setting failed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">flowcontrol の設定に失敗しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
再設定してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
4	WARN	PORT		**<IF#> mdix setting failed.**
	MDIX 設定に失敗しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] 再設定してください。			
5	WARN	PORT		**media-type setting failed.**
	メディアタイプのコンフィグレーションの設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
6	WARN	PORT		**Failed Interface MTU setting.**
	インタフェースで指定した MTU の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
7	WARN	PORT		**Failed System MTU setting.**
	system mtu の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
8	WARN	PORT		**Failed setting Medium Type.**
	メディアタイプ の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
9	WARN	PORT		**PLM : Config setting Error.**
	ポート設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
10	WARN	PORT		**<xxxxxxxx> Message Queue Receive Error. Errno:xxxx**
	タスク間メッセージ受信エラーが発生しました。 <xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報） xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
11	WARN	PORT		**<xxxxxxxx> Message Queue Send Error. Errno:xxxx**
	タスク間メッセージ送信エラーが発生しました。 <xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報） xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
12	WARN	PORT		**<xxxxxxxx> : Failed SFP xx Tx Enable.** **<xxxxxxxx> : Failed SFP xx Tx Disable.**
	SFP 用送信制御に失敗しました。 <xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>Failed Register medium report.</td></tr>
<tr><td colspan="4">メディアタイプ用通知関数登録に失敗しました。
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td><xxxxxxxx> Failed Register a handler.
<xxxxxxxx> Failed Register a handler (Linkdeb).</td></tr>
<tr><td colspan="4">通知関数登録に失敗しました。
<xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> inactivated because of broadcast storm detection.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ブロードキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ストームから回復した後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> broadcast storm detected.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ブロードキャストストームを検出しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> broadcast storm recovered.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ブロードキャストストームが回復しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">18</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> inactivated because of multicast storm detection.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マルチキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ストームから回復した後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">19</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> multicast storm detected.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マルチキャストストームを検出しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">20</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> multicast storm recovered.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マルチキャストストームが回復しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">21</td><td>WARN</td><td>PORT</td><td></td><td>STORM : Port <IF#> inactivated because of unicast storm detection.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ユニキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ストームから回復した後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
22	WARN	PORT		**STORM : Port <IF#> unicast storm detected.**
	ユニキャストストームを検出しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
23	WARN	PORT		**STORM : Port <IF#> unicast storm recovered.**
	ユニキャストストームが回復しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

● ERROR 情報

表 2-50　イベント発生部位 =PORT の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	PORT	1e331000	**Failed Pause MAC Address setting.**
	Pause 用 MAC アドレス設定に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

● FATAL 情報

表 2-51　イベント発生部位 =PORT の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	PORT	1e115000 1e125000 1e135000 1e135001 1e145000	**<xxxxxxxx> WDT Time Out.**
	ウォッチドッグタイムアウトが発生しました。 <xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.5.2　イベント発生部位＝ SFP

イベント発生部位 =SFP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-52　イベント発生部位 =SFP の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	SFP		**Detect to mount Transceiver module[UNKNOWN] on the port(<IF#>).**
	ポートにトランシーバ［種別不明］が挿入されています。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] 正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。接触不良により，正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。			
2	INFO	SFP		**Detect to mount Transceiver module[1000BASE-SX] on the port(<IF#>).**
	ポートにトランシーバ［1000BASE-SX］が挿入されています。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
3	INFO	SFP		**Detect to mount Transceiver module[1000BASE-LX] on the port(<IF#>).**
	ポートにトランシーバ［1000BASE-LX］が挿入されています。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
4	INFO	SFP		**Detect to mount Transceiver module[1000BASE-LH] on the port(<IF#>).**
	ポートにトランシーバ［1000BASE-LH］が挿入されています。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[1000BASE-SX2] on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ［1000BASE-SX2］が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[1000BASE-BX10-D] on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ［1000BASE-BX10-D］が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[1000BASE-BX10-U] on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ［1000BASE-BX10-U］が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[1000BASE-BX40-D] on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ［1000BASE-BX40-D］が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[1000BASE-BX40-U] on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ［1000BASE-BX40-U］が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[1000BASE-T] on the port(<IF#>).　【S2100】</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ［1000BASE-T］が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to mount Transceiver module[100BASE-FX] on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートにトランシーバ [100BASE-FX] が挿入されています。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>INFO</td><td>SFP</td><td></td><td>Detect to unmount Transceiver module on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートからトランシーバが外されました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-53　イベント発生部位 =SFP の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>SFP</td><td></td><td>SFP-T access error (<IF#>).　【S2100】</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートに挿入した SFP-T トランシーバでエラーが発生しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。
接触不良により，正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。
回復しない場合はトランシーバを交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>WARN</td><td>SFP</td><td></td><td>SFP-T access recovered (<IF#>).　【S2100】</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートに挿入した SFP-T トランシーバのエラーが回復しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

2.5.3　イベント発生部位＝ FABRIC

イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-54　イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>FABRIC</td><td></td><td>b-driver: Switch Device driver succeeded in memory restoration.(<type>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">パリティエラー復旧処理に成功しました。
<type>："L2_ENTRY"，"L2MC"
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>FABRIC</td><td></td><td>Switch Device driver detected a fault(<IF#>).[<code>]</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバで障害を検出したため，復旧処理を行いました。
<IF#>：インタフェースポート番号
<code>：エラーコード（メーカ解析用情報）
[対応]
障害を継続的に検出する場合，以下を確認してください。
• ケーブルを確認し，再度接続してください。
• ケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-55 イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	FABRIC		**b-driver: xxxx**
	デバイスドライバでエラーを検出しました。 xxxx：エラーメッセージ（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

● ERROR 情報

表 2-56 イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	FABRIC	1d3f0010	**b-driver: xxxx**
	デバイスドライバでエラーを検出しました。 xxxx：エラーメッセージ（メーカ解析用情報） [対応] 装置を交換してください。			

● CRITC 情報

表 2-57 イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	FABRIC	1d200000	**Switch Device Configuration Unmatch**
	認識したデバイス数と装置タイプ定義が一致していません。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
2	CRITC	FABRIC	1d2f0000	**Switch Device Driver Startup Sequence Failure**
	デバイスドライバの起動処理に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
3	CRITC	FABRIC	1d290000	**Failed to set STG <STG#> (rv=xx)**
	ハードウェアへの設定に失敗しました。 <STG#>：メーカ解析用情報 xx：メーカ解析用情報 [対応] 運用コマンド reload，または本装置の電源 OFF/ON により，装置を再起動してください。			

● FATAL 情報

表 2-58 イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	FABRIC	1d100000	**Switch Device Configuration Unmatch**
	認識したデバイス数と装置タイプ定義が一致していません。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
2	FATAL	FABRIC	1d100001	**Switch Device Driver Error (returned by BCMX attach x:・・・)**
	デバイスドライバのアタッチ処理でエラーが発生したため API 制御ができません。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
3	FATAL	FABRIC	1d100002	**Switch Device Driver Startup Sequence Failure**
	デバイスドライバの起動に失敗しました。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
4	FATAL	FABRIC	1d100003	**Switch Device Driver Startup Sequence Time-Out**
	デバイスドライバの起動処理でタイムアウトが発生しました。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
5	FATAL	FABRIC	1d100004	**b-driver: Switch Device driver detected a fault.(<type>) <code>**
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 ＜ type ＞ <code> : エラー情報（メーカ解析用情報） [対応] 障害を継続的に検出する場合，装置を交換してください。			
6	FATAL	FABRIC	1d100005	**b-driver: Parity error occurred.(<type>)**
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 ＜ type ＞ : エラー情報（メーカ解析用情報） [対応] 障害を継続的に検出する場合，装置を交換してください。			
7	FATAL	FABRIC	1d100006	**b-driver: Switch Device driver failed in memory restoration.(<type>)<code>**
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 ＜ type ＞ <code> : エラー情報（メーカ解析用情報） [対応] 障害を継続的に検出する場合，装置を交換してください。			
8	FATAL	FABRIC	1d120000 1d121000	**Hardware restarted because of its failure.(<code>)【S2100】【SS1240】**
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 <code> : エラー情報（メーカ解析用情報） [対応] 障害を継続的に検出する場合，装置を交換してください。			

2.5.4　イベント発生部位＝ POE【S2200】【S2100】【SS1240】

イベント発生部位 =POE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-59　イベント発生部位 =POE の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>POE</td><td></td><td>Initialization PoE configuration.</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE のコンフィグレーション設定を実施します。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>POE</td><td></td><td><IF#> Unable to supply power by the power shortage.【SS1240】</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置全体の電力不足により，電力供給できません。
[対応]
本ポートに電力を供給したい場合は，運用コマンド show power inline を用いて Threshold と Allocate を確認し，接続している受電装置の数を減らして Allocate が Threshold を下回るようにしてください。
またはコンフィグレーションコマンド power inline を用いて優先度を変更してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>POE</td><td></td><td>PoE Firmware Download Successful. (X)【S2200】</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE コントローラのダウンロードが正常に終了しました。
(X)：1（系統 1），2（系統 2）
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-60　イベント発生部位 =POE の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>POE</td><td></td><td><IF#> Supplying power was stopped by the overload detection.</td></tr>
<tr><td colspan="4">オーバロード検出により，電力の供給を停止しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
受電装置を確認してください。
また，PoE 電力供給が可能な装置同士を接続している場合，コンフィグレーションコマンド power inline で当該ポートの PoE 機能を無効にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>WARN</td><td>POE</td><td></td><td><IF#> Supplying power was stopped by the thermal shutdown.</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE コントローラの温度異常検出により，電力の供給を停止しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
装置の設置環境を見直し，再度接続してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>WARN</td><td>POE</td><td></td><td><IF#> Supplying power was stopped by the PD disorder.(xxxx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">受電装置の障害検出により，電力の供給を停止しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
xxxx：電力供給停止要因
[対応]
運用コマンド activate power inline を実行してみてください。復旧しない場合は，受電装置またはケーブルを確認し，再度接続してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>WARN</td><td>POE</td><td></td><td><IF#> Unable to supply power by the power shortage.【S2200】</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置全体の電力不足により，電力供給できません。
[対応]
本ポートに電力を供給したい場合は，運用コマンド show power inline を用いて Threshold と Allocate を確認し，接続している受電装置の数を減らして Allocate が Threshold を下回るようにしてください。
またはコンフィグレーションコマンド power inline を用いて優先度を変更してください。
設定見直し後，運用コマンド activate power inline を実行してください。</td></tr>
</table>

● CRITC 情報

表 2-61　イベント発生部位 =POE の装置関連の CRITC 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>CRITC</td><td>POE</td><td>2C200201</td><td>PoE controller not found.</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE コントローラを検出できませんでした。PoE 機能は使用できません。
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
</table>

● FATAL 情報

表 2-62　イベント発生部位 =POE の装置関連の FATAL 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>FATAL</td><td>POE</td><td>2C100301</td><td>PoE controller wake up failed. (X)【S2200】</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE コントローラの起動に失敗しました。
(X)：1（系統 1），2（系統 2）
[対応]
なし。(自動的に装置が再起動されます。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>FATAL</td><td>POE</td><td>2C100301</td><td>PoE controller wake up failed.【SS1240】</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE コントローラの起動に失敗しました。
[対応]
なし。(自動的に装置が再起動されます。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>FATAL</td><td>POE</td><td>2C100302</td><td>Init controller failed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">PoE のコンフィグレーション設定に失敗しました。
[対応]
なし。(自動的に装置が再起動されます。)</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
4	FATAL	POE	2C100303	**PoE controller access failed.(xxxx)**
	PoE コントローラへのアクセスに失敗しました。 (xxxx)：原因コード（メーカ解析用情報） ［対応］ なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.5.5　イベント発生部位＝ ULR

イベント発生部位 =ULR の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-63　イベント発生部位 =ULR の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	ULR		**: Change to secondary Port <IF#> from primary Port <IF#>.**
	プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 ［対応］ プライマリポートの障害を確認してください。			
2	INFO	ULR		**: Change to secondary Port <IF#> from primary ChGr <Channel group#>.**
	プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 ［対応］ プライマリポートの障害を確認してください。			
3	INFO	ULR		**: Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary Port <IF#>.**
	プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 <IF#>：インタフェースポート番号 ［対応］ プライマリポートの障害を確認してください。			
4	INFO	ULR		**: Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary ChGr <Channel group#>.**
	プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 ［対応］ プライマリポートの障害を確認してください。			
5	INFO	ULR		**: Change to primary Port <IF#> from secondary Port <IF#>.**
	セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 ［対応］ セカンダリポートの障害を確認してください。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
6	INFO	ULR		**: Change to primary Port <IF#> from secondary ChGr <Channel group#>.**
	セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。			
7	INFO	ULR		**: Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary Port <IF#>.**
	セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。			
8	INFO	ULR		**: Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary ChGr <Channel group#>.**
	セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。			
9	INFO	ULR		**: Change to secondary Port <IF#> from primary Port <IF#> forced.**
	手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
10	INFO	ULR		**: Change to secondary Port <IF#> from primary ChGr <Channel group#> forced.**
	手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
11	INFO	ULR		**: Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary Port <IF#> forced.**
	手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
12	INFO	ULR		**: Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary ChGr <Channel group#> forced.**
	手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
13	INFO	ULR		**: Change to primary Port <IF#> from secondary Port <IF#> forced.**
	手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
14	INFO	ULR		**: Change to primary Port <IF#> from secondary ChGr <Channel group#> forced.**
	手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
15	INFO	ULR		**: Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary Port <IF#> forced.**
	手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
16	INFO	ULR		**: Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary ChGr <Channel group#> forced.**
	手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
17	INFO	ULR		**: Mac-address-table update frame cannot be sent on the Port <IF#> because capacity was exceeded.**
	MAC アドレス送信件数（1024）を超えたため，MAC アドレスアップデートフレームを送信できません。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
18	INFO	ULR		**: Mac-address-table update frame cannot be sent on the ChGr <Channel group#> because capacity was exceeded.**
	MAC アドレス送信件数（1024）を超えたため，MAC アドレスアップデートフレームを送信できません。 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			

● WARN 情報

表 2-64　イベント発生部位 =ULR の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	ULR		**: Cleared MAC Address Table entry.**
	フラッシュ制御フレームを受信したため，MAC アドレステーブルをクリアしました。 [対応] なし。			

2.6　装置

2.6.1　イベント発生部位＝ ROM

イベント発生部位 =ROM の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● WARN 情報

表 2-65　イベント発生部位 =ROM の装置関連の WARN 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>WARN</td><td>ROM</td><td></td><td>FROM write timeout Addr=xxxxxxxx, getData=xx</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリ書き込みでエラーが発生しました。
Addr=xxxxxxxx,getData=xx：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
コマンドを再実行してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>WARN</td><td>ROM</td><td></td><td>FROM erase timeout Addr=xxxxxxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリ消去でエラーが発生しました。
Addr=xxxxxxxx：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
コマンドを再実行してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>WARN</td><td>ROM</td><td></td><td>flash format complete.</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリのファイルシステムの初期化が正常終了しました。
（運用コマンド format flash 実行時，正常終了しても本情報は採取されます。）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>WARN</td><td>ROM</td><td></td><td>flash format error. detail=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリのファイルシステムの初期化が失敗しました。
detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>WARN</td><td>ROM</td><td></td><td>flash format task not ended. detail=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリのファイルシステムの初期化が終了できませんでした。
detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>WARN</td><td>ROM</td><td></td><td>flash format system error(1). detail=xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリのファイルシステムの初期化でシステムエラーが発生しました。
detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
7	WARN	ROM		**flash format system error(2). detail=xxxx**
	フラッシュメモリのファイルシステムの初期化でシステムエラーが発生しました。 detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			

● ERROR 情報

表 2-66 イベント発生部位 =ROM の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	ROM	29300001	**Boot program check sum error**
	ブートプログラムでサムチェック異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
2	ERROR	ROM	29300004	**SMP Main (bootA) program check sum error**
	メインプログラムサムチェック異常が発生しました。 [対応] 装置を交換してください。			
3	ERROR	ROM	29300007	**flash write error. addr=xxxxxxxxxx size=xxxx**
	フラッシュメモリ書き込みでエラーが発生しました。 addr=xxxxxxx size=xxxx：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] そのとき実行していたコマンドを再実行してみてください。それでもエラーになる場合は，装置を交換してください。			
4	ERROR	ROM	29300008	**flash erase error. addr=xxxxxxxxxx size=xxxx**
	フラッシュメモリ消去でエラーが発生しました。 addr=xxxxxxx size=xxxx：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] そのとき実行していたコマンドを再実行してみてください。それでもエラーになる場合は，装置を交換してください。			
5	ERROR	ROM	29300010	**The model type is not set as ROM**
	モデルタイプが未設定です。 [対応] 装置を交換してください。			
6	ERROR	ROM	29300013	**file system error.**
	フラッシュメモリのコンフィグレーション格納エリアが使用できない状態になっています。 [対応] 運用コマンド format flash を実行してみてください。それでもエラーになる場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
7	ERROR	ROM	29300064	**FROM write fail [cnt=xxxxxxxx,size=xxxxxxxx,err=xxxxxxxx]**
	運用コマンド ppupdate または restore 実行時，フラッシュメモリへの書き込みに失敗しました。 cnt=xxxxxxxx：原因コード（メーカ解析用情報） size=xxxxxxxx：原因コード（メーカ解析用情報） err=xxxxxxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド ppupdate（restore を実行していた場合は，restore）を再実行してみてください。それでもエラーになる場合は，装置を交換してください。			

2.6.2　イベント発生部位＝ RTC

イベント発生部位 =RTC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● WARN 情報

表 2-67　イベント発生部位 =RTC の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	RTC		**Battery EMPTY**
	RTC のバッテリーが 0V から起動しました。(装置の電源 OFF 後 10 日以上経過してから起動した場合) [対応] 時刻を設定しなおしてください。			
2	WARN	RTC		**Retry failure**
	RTC へのアクセスに失敗しました。 [対応] なし。			

● ERROR 情報

表 2-68　イベント発生部位 =RTC の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	RTC	223000C9	**Initialize Failure**
	RTC の初期化処理に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

2.6.3 イベント発生部位＝ THERMO

イベント発生部位 =THERMO の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-69 イベント発生部位 =THERMO の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	THERMO		**An environmental level became normal**
	温度（外気温）が閾値を超えた状態から，正常温度に戻りました。 [対応] なし。			
2	INFO	THERMO		**The temperature of hardware reached the warning level (<temperature threshold> degree).**
	ハードウェアの温度がコンフィグ system temperature-warning-level にて設定した温度を上回りました。 <temperature threshold>：コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level にて設定した温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。			
3	INFO	THERMO		**The temperature of hardware came down from the warning level.**
	ハードウェアの温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level にて設定した温度から 3 度下回りました。 [対応] なし。			
4	INFO	THERMO		**The temperature logging can't be written.**
	温度ロギング情報の書き込みに失敗しました。 [対応] なし。			
5	INFO	THERMO		**The average temperature of hardware reached the warning level. (<temperature> degree/<temperature threshold> degree <days> day(s))**
	ハードウェアの平均温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level average にて設定した温度を上回りました。 <temperature>：装置の平均温度（摂氏） <temperature threshold>：コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level average にて設定した温度（摂氏） <days>：平均温度算出期間 [対応] 装置の平均温度が指定した平均温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。			

● WARN 情報

表 2-70　イベント発生部位 =THERMO の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	THERMO		**Data of accumulation operation time fail**
	累積稼動時間のデータが壊れています。 [対応] なし。			
2	WARN	THERMO		**Accumulation operation time was initialized**
	累積稼動時間のデータが壊れていたため，累積稼動時間を 0 に初期化しました。 [対応] なし。			

● ERROR 情報

表 2-71　イベント発生部位 =THERMO の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	THERMO	2330012D	**Temperature exceeds the threshold**
	温度（外気温）が閾値を超えました。 [対応] 装置周辺の環境（室温など）を確認し，改善してください。			
2	ERROR	THERMO	2330012F	**Temperature sensor re-try failure**
	温度センサのリトライに失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
3	ERROR	THERMO	23300131	**Set Configuration Failure**
	装置起動時，温度センサレジスタへの Config 設定時のベリファイ処理に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

2.6.4　イベント発生部位＝ SDCARD

イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-72　イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>SDCARD</td><td></td><td>Can't update software. [Hardware rev.xx]</td></tr>
<tr><td colspan="4">指定されたアップデートファイルではアップデートできません。
[対応]
本ログが採取された場合は，アップデート作業上の制限事項があります。詳細は「ソフトウェアアップデートガイド　3. 旧バージョン間のアップデート手順」を参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>SDCARD</td><td></td><td>Loading mc-configuration failed; <reason> 【S2100】</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードで装置起動時に，MC 情報の読み込みに失敗しました。
<reason>：失敗理由
・MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
・File read failed.（ファイルの読み込みに失敗しました）
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>SDCARD</td><td></td><td>Updating mc-configuration is completed. 【S2100】</td></tr>
<tr><td colspan="4">稼働中のソフトウェアと装置情報の MC への更新が完了しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>SDCARD</td><td></td><td>Updating mc-configuration failed; <reason> 【S2100】</td></tr>
<tr><td colspan="4">稼働中のソフトウェアと装置情報の MC への更新に失敗しました。
<reason>：失敗理由
・Not enough space on device.（MC または RAMDISK※の容量が不足しています）
・File write failed.（ファイルの書き込みに失敗しました）
・MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
・Can't access to MC by write protection.（MC はライトプロテクトで保護されているため，書き込みできません）
注※　MC 出力時も，RAMDISK を一時保存エリアとして使用しています。
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>SDCARD</td><td></td><td>上記以外</td></tr>
<tr><td colspan="4">上記以外は，コマンドレス保守機能で採取されている場合があります。
別冊「IP8800/S2500・IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1200　コマンドレス保守レファレンス」も参照してください。</td></tr>
</table>

● WARN 情報

表 2-73　イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の WARN 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	SDCARD		**Not Support File System**
	FAT12，FAT16 以外のファイルシステムのメディアが挿入されました。 [対応] FAT12 または FAT16 でフォーマットし直してください。			

● ERROR 情報

表 2-74　イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	SDCARD	263000C9	**Create Device Fail**
	装置起動時の初期化処理で MC アクセスデバイス生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
2	ERROR	SDCARD	263000CA	**Could Not Create Semaphore**
	装置起動時の初期化処理でセマフォ生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
3	ERROR	SDCARD	263000CB	**Could Not Create Message Que**
	装置起動時の初期化処理でメッセージキューの生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
4	ERROR	SDCARD	263000CC	**Could not Create Task**
	装置起動時の初期化処理でタスク生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

2.6.5　イベント発生部位＝ FAN【S2200】【S2100】【SS1240】

イベント発生部位 =FAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-75　イベント発生部位 =FAN の装置関連の INFO 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	INFO	FAN		**Recover of FAN Alarm.**
	ファン停止から回復しファン 1，ファン 2 の両方が正常動作しました。 [対応] なし。			
2	INFO	FAN		**FAN stopped by the system FAN control.**
	温度監視によりファンが停止しました。 [対応] なし。			
3	INFO	FAN		**FAN started by the system FAN control.**
	温度監視によりファンが動作しました。 [対応] なし。			

● ERROR 情報

表 2-76　イベント発生部位 =FAN の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	ERROR	FAN	2b340001	**Alarm of FAN is detected.【S2200】【S2100】**
	ファンの停止を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
2	ERROR	FAN	2b340001	**Alarm of FAN1 is detected.【SS1240】**
	ファン 1 の停止を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
3	ERROR	FAN	2b341001	**Alarm of FAN2 is detected.**
	ファン 2 の停止を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			

2.6.6　イベント発生部位＝ LED

イベント発生部位 =LED の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-77　イベント発生部位 =LED の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>LED</td><td></td><td>Changed LED brightness : xxxx</td></tr>
<tr><td colspan="4">LED 動作を変更しました。
xxxx : LED 動作の設定（normal，economy，off）
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

2.6.7　イベント発生部位＝ SVP

イベント発生部位 =SVP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-78　イベント発生部位 =SVP の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>SVP</td><td></td><td>SVP controller download succeeded.</td></tr>
<tr><td colspan="4">SVP コントローラの更新が終了しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>SVP</td><td></td><td>SVP started.</td></tr>
<tr><td colspan="4">SVP の起動を確認しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>SVP</td><td></td><td>This machine is going to sleep ... in a few seconds.</td></tr>
<tr><td colspan="4">数秒後に装置スリープに遷移します。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● ERROR 情報

表 2-79 イベント発生部位 =SVP の装置関連の ERROR 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト / 内容
1	ERROR	SVP	39339101	**Error of SVP is detected.**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			

● CRITC 情報

表 2-80 イベント発生部位 =SVP の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト / 内容
1	CRITC	SVP	39239000	**SVP controller Version write error !!**
	SVP コントローラのバージョン書き込みに失敗しました。 [対応] 装置を交換してください。			
2	CRITC	SVP	39239001	**SVP controller download(SPI Tx) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
3	CRITC	SVP	39239002	**SVP controller download(SPI Write) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
4	CRITC	SVP	39239003	**SVP controller download(Health Check) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
5	CRITC	SVP	39239004	**SVP controller download(Unknown) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			

2.6.8 イベント発生部位＝ PWRSUP

イベント発生部位 =PWRSUP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● CRITC 情報

表 2-81 イベント発生部位 =PWRSUP の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	PWRSUP	3C239201 3C239202 3C239203 3C239204 3C239205 3C239206 3C239207 3C239208 3C239209 3C23920A 3C23920B 3C23920C 3C23920D 3C23920E 3C23920F	**Error of the power supply was detected.**
	電源の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			

2.6.9 イベント発生部位＝ PCI

イベント発生部位 =PCI の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● FATAL 情報

表 2-82 イベント発生部位 =PCI の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	PCI	1C100001	**Detected parity error(cfg=xx,sum=xx).**
	パリティエラーを検出しました。（PCI バス障害） コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			
2	FATAL	PCI	1C100002	**Signaled system error(cfg=xx,sum=xx).**
	システムエラーが通知されました。（PCI バス障害） コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100003</td><td>Received master abort(cfg=xx,sum=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">CPU がターゲット時，マスタアボートを受信しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100004</td><td>Received target abort(cfg=xx,sum=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">CPU がマスタの時，ターゲットアボートを受信しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100005</td><td>Signaled target abort(cfg=xx,sum=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">CPU がターゲットの時，ターゲットアボートを送信しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100006</td><td>Master data parity error(cfg=xx,sum=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">パリティエラーをアサートまたは検出しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100007</td><td>System Error(cfg=xx,sum=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">CPU が PCI に関するエラーを検出しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100008</td><td>PCI fatal error(Command Status=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">SW-LSI が PCI に関するエラーを検出しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>FATAL</td><td>PCI</td><td>1C100009</td><td>PCI parity error(Command Status=xx).</td></tr>
<tr><td colspan="4">SW-LSI でデータパリティエラーを検出しました。(PCI バス障害)
コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。
xx：検出箇所（メーカ解析情報）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
</table>

2.6.10 イベント発生部位＝ RAM

イベント発生部位 =RAM の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● FATAL 情報

表 2-83 イベント発生部位 =RAM の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	FATAL	RAM	2A100001	**Double bit error in DDR2(FADR=xx,SYND=xx).**
	DDR2 で 2 bit エラーが発生しました。（ECC エラー） コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			
2	FATAL	RAM	2A100002	**Double bit error in L2D(FADR=xx, SYND0=xx,SYND1=xx).**
	L2 Cache data で 2 bit エラーが発生しました。（ECC エラー） コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			
3	FATAL	RAM	2A100003	**Double bit error in L2T(FADR=xx,SYND=xx).**
	L2 Cache Tag で 2 bit エラーが発生しました。（ECC エラー） コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

2.6.11 イベント発生部位＝ CPU

イベント発生部位 =CPU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● CRITC 情報

表 2-84 イベント発生部位 =CPU の装置関連の CRITC 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	Ref. Code	メッセージテキスト
	内容			
1	CRITC	CPU	2D202000	**CPU BIST Fatal Detect. xx[xx](mask=xx) expect:xx -> rdata:xx**
	CPU 内部 FIFO における BIST 診断でエラーを検出しました。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

2.6.12　イベント発生部位＝ EQUIPMENT【S2100】

イベント発生部位 =EQUIPMENT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● INFO 情報

表 2-85　イベント発生部位 =EUIPMENT の装置関連の INFO 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>Ref. Code</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>INFO</td><td>EQUIPMENT</td><td></td><td>Zero-touch-provisioning started.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ゼロタッチプロビジョニング動作モードでの装置起動を開始しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>INFO</td><td>EQUIPMENT</td><td></td><td>Changes detected on zero-touch-provisioning. Restarting.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ゼロタッチプロビジョニング動作モード処理により再起動します。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>INFO</td><td>EQUIPMENT</td><td></td><td>System started with zero-touch-provisioning.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ゼロタッチプロビジョニング動作モードで起動しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>INFO</td><td>EQUIPMENT</td><td></td><td>System started without zero-touch-provisioning; <reason></td></tr>
<tr><td colspan="4">通常モードで起動しました。
<reason>：通常起動理由
• No configuration.（ゼロタッチプロビジョニングが無効です。）
• Link down.（ゼロタッチプロビジョニングインタフェースがリンクダウン状態です。）
• No IP address.（IP アドレスを取得できませんでした。）
• File get failed.（ファイルの取得に失敗しました。）
• File read failed.（ファイルの読み込みに失敗しました。）
• File write failed.（ファイルの書き込みに失敗しました。）
[対応]
• 失敗理由が「Link down.」の場合
ゼロタッチプロビジョニングインタフェースを見直してください。
• 失敗理由が「File get failed.」または「No IP address.」の場合
サーバの設定を見直してください。
• 失敗理由が「File read failed.」または「File write failed.」の場合
一括情報ファイル，個別情報ファイルを見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>INFO</td><td>EQUIPMENT</td><td></td><td>System zero-touch-provisioning is disabled, because the mc-configuration has been enabled.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードを有効に変更したため，排他機能のゼロタッチプロビジョンを無効にしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>INFO</td><td>EQUIPMENT</td><td></td><td>System zero-touch-provisioning is enabled, because the mc-configuration has been disabled.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードを有効に変更したため，排他機能のゼロタッチプロビジョンを無効にしました。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

索引

こ

そ

ふ

ほ

め

ろ